

# 未開の領域

ヒツキー・アカデミー

*Hikky・Academy*

*2nd Stage*

2018年08月06日 開講 第10回 最終回

# 本日の内容

・前回の内容      宇宙構造と多次元フィールド！

・今日の内容      意識外ストレス







# なぜ？ 台風が東から西へ？



# 前回の復習

宇宙構造と多次元フィールド  
の復習



# 宇宙構造と多次元フィールド

私たちの宇宙は、どのようにして始まったのでしょうか。

実は、今のところ最初期の姿についてはまだよく解っておらず、様々な説が提唱されています。何も無いところから始まったという説がよく聞かれますが、他の宇宙から発生したという説もあります。いずれにせよ、今後の研究が待たれる状態です。

あれ？ビッグバンから始まったんじゃないの？という方もいらっしゃるかもしれませんが。このビッグバンというのは、宇宙が誕生して $10^{-27}$ 秒後に起こった出来事なんですね。10のマイナス27乗ですから、もはや人には全く区別できないほど一瞬の出来事ですが、宇宙が誕生した瞬間とは僅かな時間の差があることになります。

# 宇宙構造と多次元フィールド

それでは宇宙の誕生から、現在見られる状態の宇宙の最初期までを、概念的な時系列順に書いてみましょう。

## ●誕生～10<sup>-43</sup>秒後

宇宙が誕生してから、この期間は何があったかは今のところ不明。  
時間にしては、ものすごく一瞬ですが。

## ●誕生から10<sup>-36</sup>秒～10<sup>-34</sup>秒後

ここから宇宙は急膨張していきます。この宇宙の急膨張をインフレーションと呼びます。

## ●誕生から10<sup>-27</sup>秒後

素粒子の誕生・はげしく素粒子が飛び回ったため、超高温高圧の塊ができる。  
このときの状態を「ビッグバン」といいます。

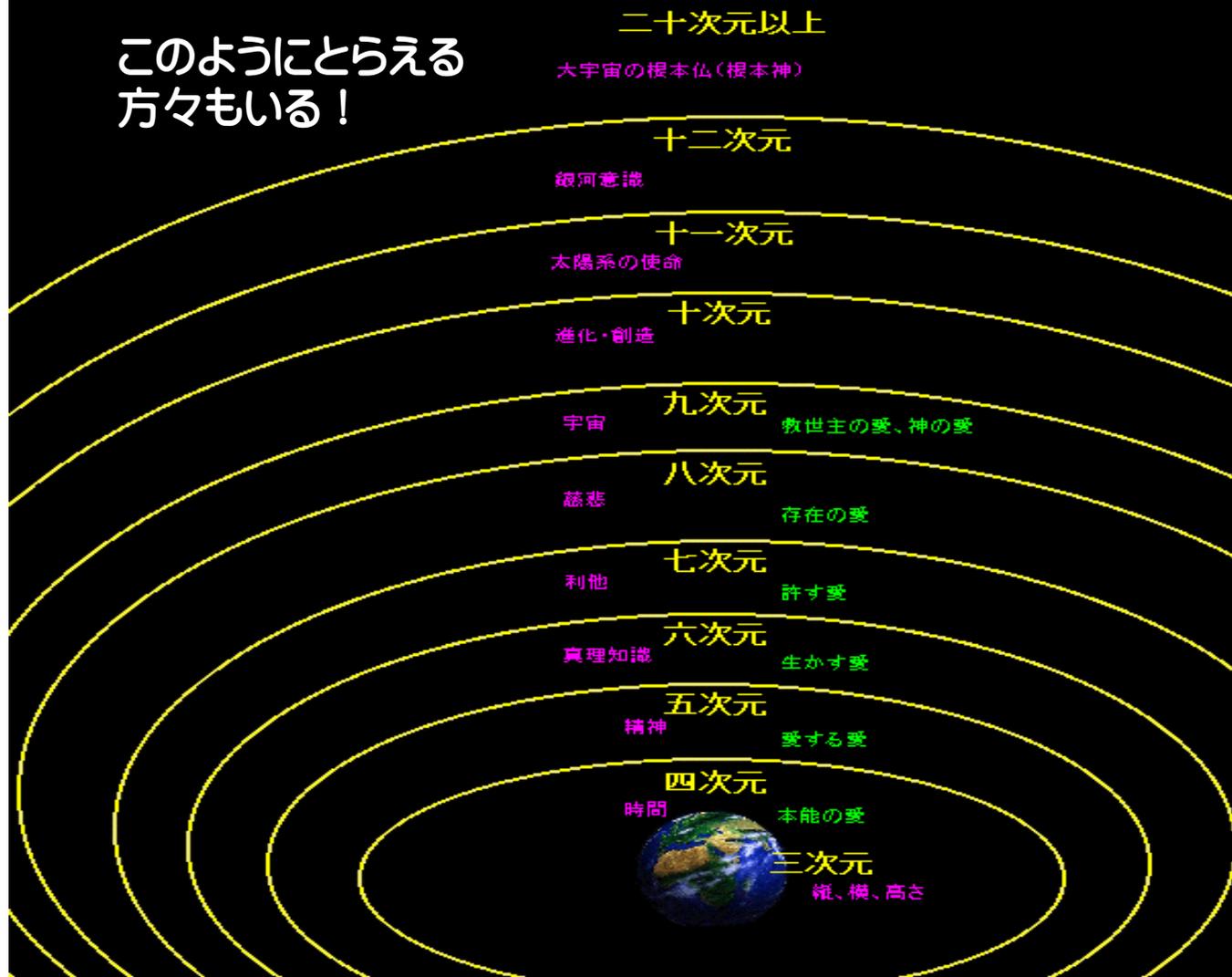
# 宇宙構造と多次元フィールド

- **誕生から10-10秒後**  
反物質が忽然と消える。
- **誕生から1秒後**  
陽子、電子、中性子が出そろふ。
- **誕生から3分後**  
原子核などの粒子が誕生する。このときの宇宙の温度は約10億度と推定。
- **誕生より38万年後**  
原子誕生。原子核と電子がくっつく、つまり電子や陽子が裸でいなくなり、光が直進し始める(宇宙の晴れ上がり)
- **誕生より3億年後**  
宇宙最初の星が誕生

# 宇宙構造と多次元フィールド

## 多次元宇宙

このようにとらえる  
方々もいる！



20次元以上	大宇宙の根本	
12次元	銀河意識	
11次元	太陽系の使命	
10次元	進化・創造	
9次元	宇宙・	救世主の愛
8次元	慈悲	存在の愛
7次元	利他	許す愛
6次元	真理知識	生かす愛
5次元	精神	愛する愛
4次元	時間	本能の愛
3次元	縦横高さ	

# 「外部マトリックス」が形づくる天地のピラミッド

上位の地球 = (緑の中の赤)  
大空間の中の生命(炎)

(アルファ)  
 $\alpha$ : 宇宙の本質 (太陽神殿 宇宙の炎)

宇宙のイデア的  
秩序を形成



高次元ピラミッド

(鏡像関係)

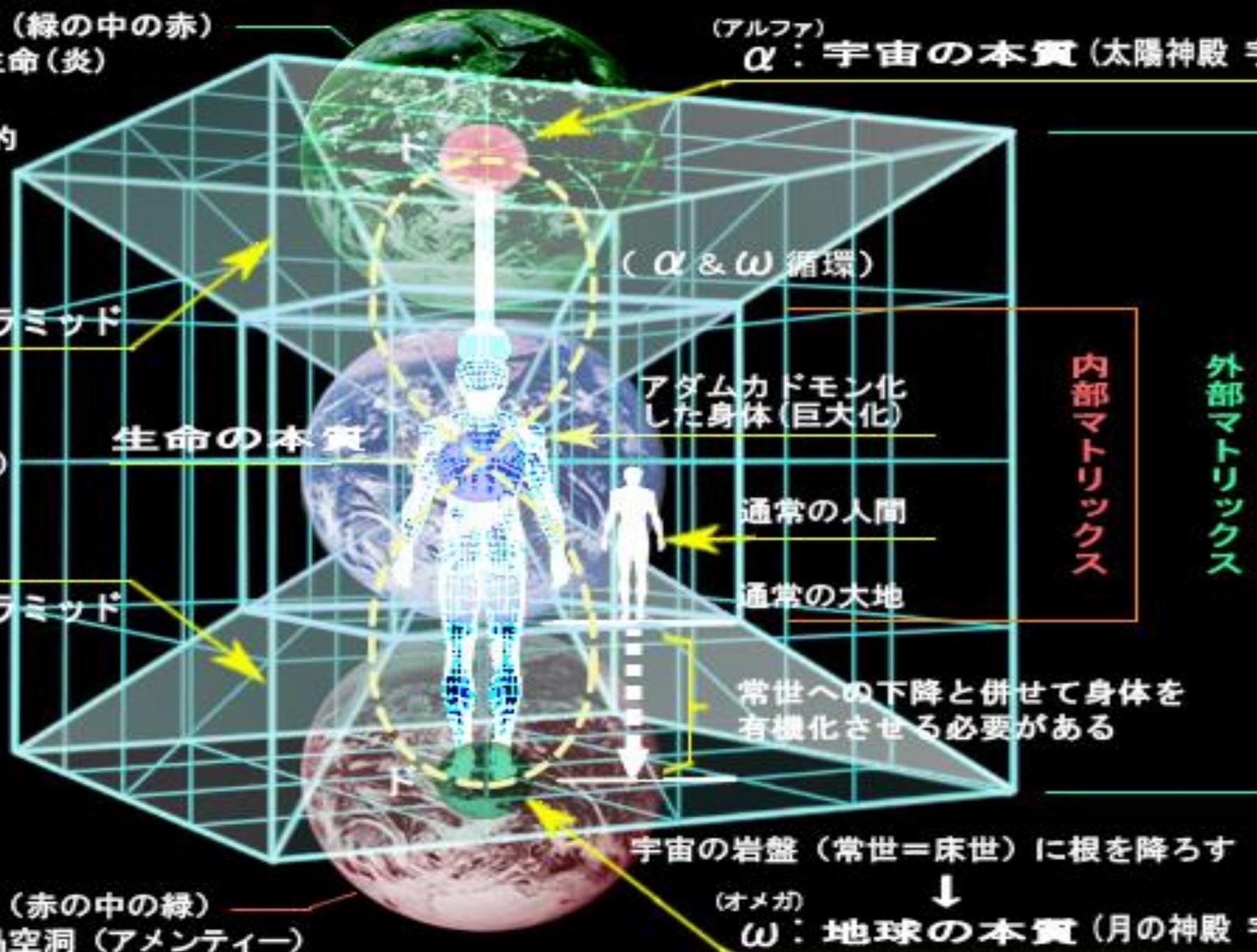
地上のピラミッド



新しい大地の  
秩序を形成

下位の地球 = (赤の中の緑)  
大地の中の結晶空洞 (アメンティー)

(オメガ)  
 $\omega$ : 地球の本質 (月の神殿 宇宙の水)



内部マトリックス

外部マトリックス

( $\alpha$  &  $\omega$  循環)

アダムカドモン化  
した身体(巨大化)

通常の間人

通常の大い

常世への下降と併せて身体を  
有機化させる必要がある

宇宙の岩盤 (常世=床世) に根を降ろす

# 宇宙構造と多次元フィールド

4次元(よじげん、四次元)は、次元が4であること。  
4つの次元がある空間を4次元空間と呼ぶ。

なお、ここでいう空間とは、物理空間に限らない。  
数学においては、ユークリッド空間をはじめとしてベクトル空間や多様体など次元を考え得る空間や対象は様々ある)。

一般の文章表現において、物事が複雑に絡み合い、それぞれの関係性を把握しきれない様子を指して「4次元的なつながり」と形容することがある。

# 宇宙構造と多次元フィールド

次元の定義については、既に皆さんが理解されていると思いますので。  
ここでは、4次元について補足したいと思います。

4番目の座標軸は正確には「時間」ではなく、「 $i \times \text{時間} \times \text{光速度}$ 」です。

( $i = \sqrt{-1}$ ) 時間  $\times$  速度 = 距離 (長さ) ですから、この軸の単位も長さということになります。  
光速は約、30万Km/秒ですから、1秒前(後)の世界が4次元の方向、30万Kmの彼方にある、ということです。

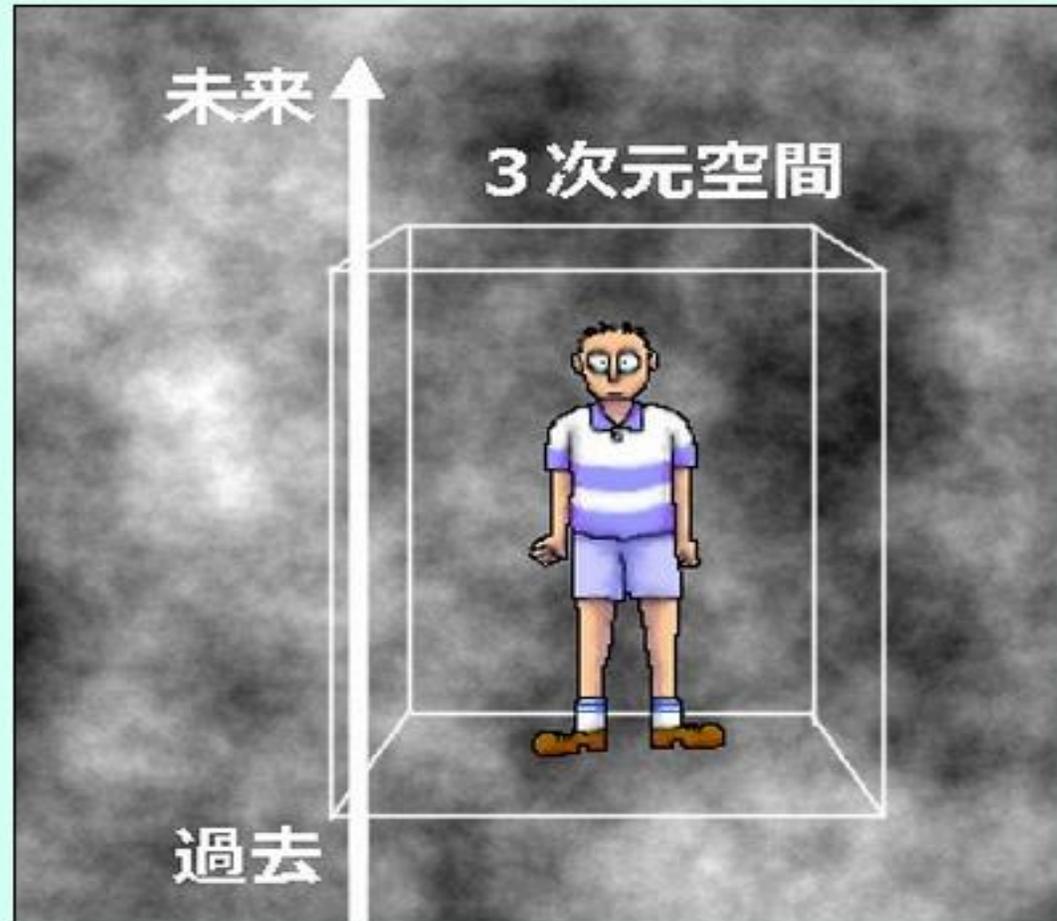
相対性理論によれば、4次元の世界に入ることが可能です。

ただし、光速に近い速度で動く必要がありますが・・・

# 宇宙構造と多次元フィールド

3次元空間に閉じ込められている私たち

4次元時空に住む私たち



## 宇宙構造と多次元フィールド

生存のために、食用の動物を捕獲し、穀物・野菜を栽培する仕事は、3次元空間と時間によって規定された世界の中で、成就される。4次元時空の生物である私たちは、4次元時空の中で起きるできごとだけを知っていれば、生存できる。それ以上の空間と時間の情報を、必要とはしない。そのために、より高次元の時空を知覚する必要はなくなった。たとえ、5次元以上の時空（4次元以上の空間と同じ意味）が周囲に存在していても、それを知覚・認識する能力を身につけることはなかったのだ。

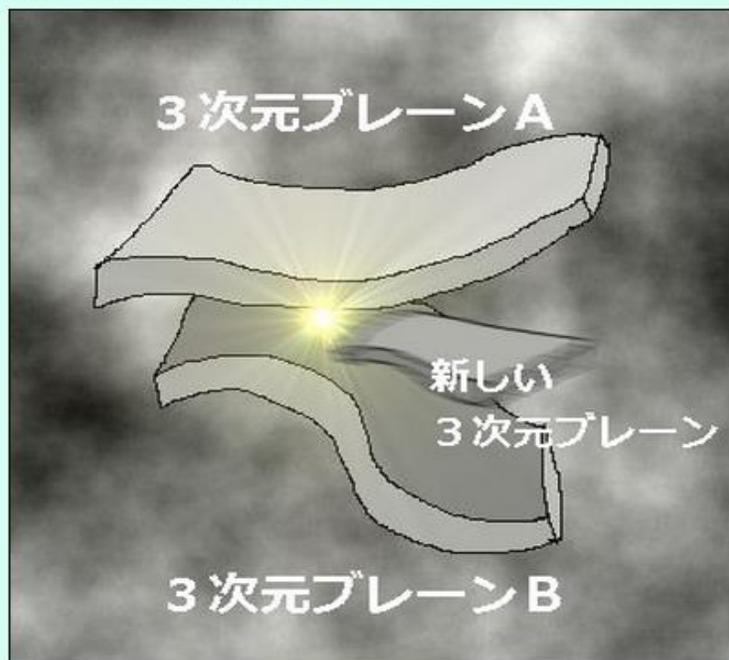
私たちは、より高い次元の世界の一部として存在しているのに、その世界を知覚することも想像することもできない。それは、観念的には恐ろしいことだ。量子論は、その実在する不可知な世界を解き明かそうとしている。

# 宇宙構造と多次元フィールド

## 10次元時空の中に誕生した私たちの宇宙

私たちが住んでいる4次元時空は、10次元時空（11次元時空の可能性もある）の一部と考えられている。即ち、私たちが認識できる4次元時空に、更に6つの次元が加わった世界が、私たちの周囲に存在しているのだ。以下、この10次元時空を、10次元世界、あるいは高次元世界と言い換えることにする。

高次元世界に誕生した私たちの3次元空間宇宙



# 宇宙構造と多次元フィールド

高次元世界に浮かぶ、3次元ブレーン（膜）どうしの接触によって、私たちの宇宙（私たちの宇宙を乗せた3次元ブレーン）が産まれたとする説が、スタインハートらによって提唱された（エキピロティック宇宙論）。

この理論によると、10次元世界の中で2つの3次元ブレーンが接触し、その接点で、3次元空間と時間を持つ新しい宇宙が誕生したことになる。これがビッグバンの始まりだ。誕生時の宇宙は瞬間的に10次元だった。しかし、 $10^{-44}$ 秒後には、3次元空間と時間だけが選択された。その時空は膨張を開始し、やがて私たちの宇宙になった。

\* \* \* \* \*

# 宇宙構造と多次元フィールド

この理論を敷衍すれば、ブレーンを3次元だけに限定する必要はない。4次元、5次元、あるいはそれ以上の次元のブレーンが、10次元世界の中に存在し、それぞれのブレーンが互いに接触をしている。その結果、多様な次元の宇宙が産み出されているかもしれない。

後で触れるが、10次元世界には、無限の数のブレーンが存在していると考えられる。2つの3次元ブレーンの接触によって、私たちの宇宙を乗せたブレーンが新しく産み出されたのならば、10次元世界において、3次元空間の宇宙が数限りなく産み出されているはずだ。

接触は、同じ次元のブレーンどうしで起こることになる。3次元ブレーンと、4次元以上のブレーンとの接触はあり得ない。立方体（3次元）とその立方体の表面（2次元）を考えれば、そういう結論になる。立方体の表面が、その表面を乗せている立方体に接触をするということは、あり得ないからだ。

\* \* \* \* \*

# 宇宙構造と多次元フィールド

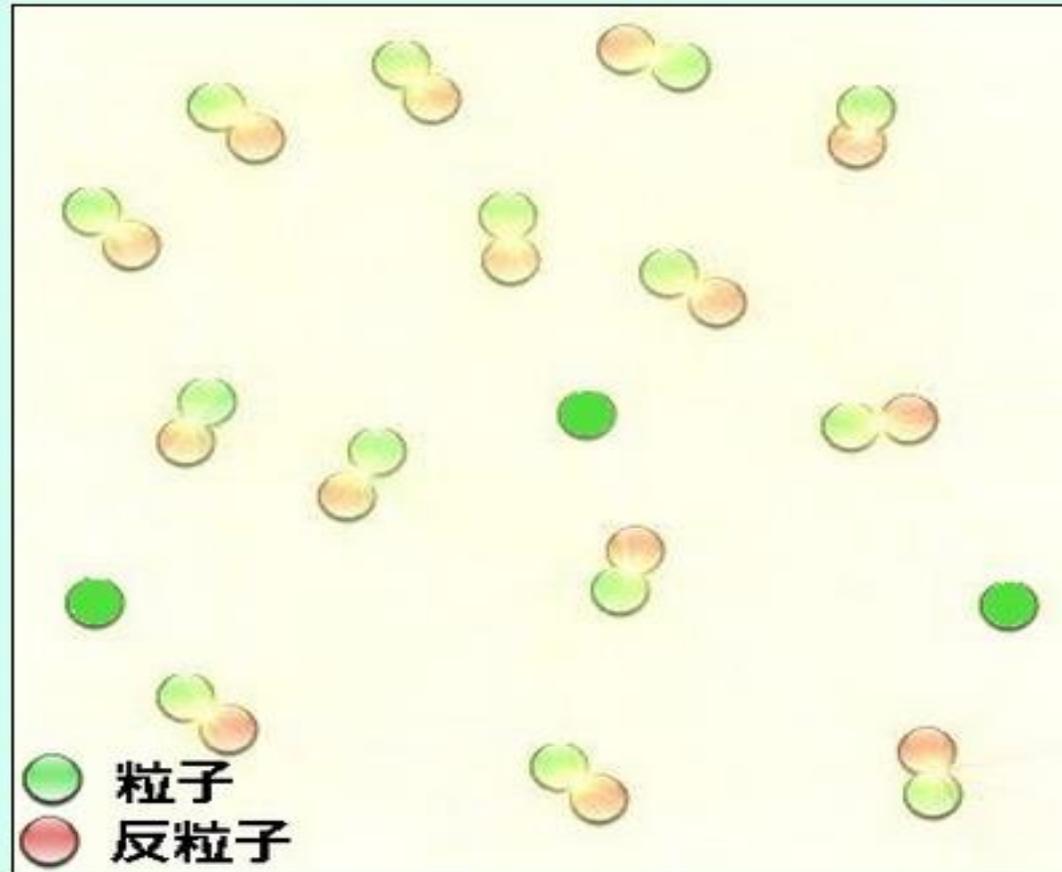
ブレンどうしの接触によって、ブレンが消滅する可能性も考えられている。消滅は本当に起こるのだろうか？起こるとすれば、どういう条件がそろった時なのだろうか？

高次元世界のどこかで起こっているとしても、観察は不可能だ。私たちは、他の宇宙が乗っている別のブレンを、観測することはできない。私たち自身の宇宙が乗っているブレンが消滅する場合は、私たちはブレンどうしの接触を知る前に消滅してしまう。

# 宇宙構造と多次元フィールド

ビッグバンから生命誕生までの自然な流れ

ビッグバン時に生成された「粒子」と「反粒子」



# 宇宙構造と多次元フィールド

ブレーンどうしの接触によって引き金を引かれた、ビッグバンによって、高次元世界のどこから、この宇宙へ放出された莫大な量のエネルギーは、最初に「粒子」と「反粒子」になった。ほとんどの「粒子」と「反粒子」は、接触して対消滅した。しかし、不確定性原理によって、「粒子」の数がわずかに勝っていたために、消えずに残る「粒子」があった。

ここで、アインシュタインの有名な公式 $E=mc^2$ を思い出そう。この公式は、エネルギーと物質が等価であることを示している。エネルギーは物質に変換され、物質はエネルギーに変換される。

ビッグバン時に残った「粒子」によって、クォークが形成された。そして、原子核を構成することになる陽子や中性子と、原子核の周囲を回る電子が誕生。ここまでにかけた時間は、宇宙誕生後1000分の1秒だった。空間が膨張するとともに宇宙の温度は下がり、38万年後に、原子核と電子が結びついて、最も単純な原子が誕生した。それは水素原子で、現在、宇宙に存在する原子の実に75パーセントが、ビッグバン後に誕生したこの水素原子なのだ。

# 宇宙構造と多次元フィールド

やがて、原子が集合して星が作られた。水素原子は燃える星の中で重合し、元素表に示されている各種のより重い原子へと進化した。それらの原子は超新星爆発によって、宇宙空間へ放出された。自らの引力や斥力によって、宇宙空間で集合した原子は、ケイ酸塩や水などの分子を形成した。いわゆる宇宙塵だ。そして宇宙塵は星間雲に成長し、太陽系のような恒星系を産み出す種子になった。太陽の周囲を惑星が回るようになった。やがて、地球上に生命の誕生。

生命のもとになる分子を形成し、更に複雑なたんぱく質を誕生させるには、宇宙に普遍的な原子間、分子間相互作用である、ファンデルワールス力、クーロン力、水素結合、配位結合、疎水結合などの化学結合があれば、十分だ。地球上で最終的には人類が誕生したが、この進化に奇跡はない。

\* \* \* \* \*

以上のことを考えると、私たちが住んでいるこの宇宙のみならず、観察することが不可能な別の3次元空間宇宙にも、私たちのような生物が住む惑星は無数に存在すると考えるのが、自然だ。

# 宇宙構造と多次元フィールド

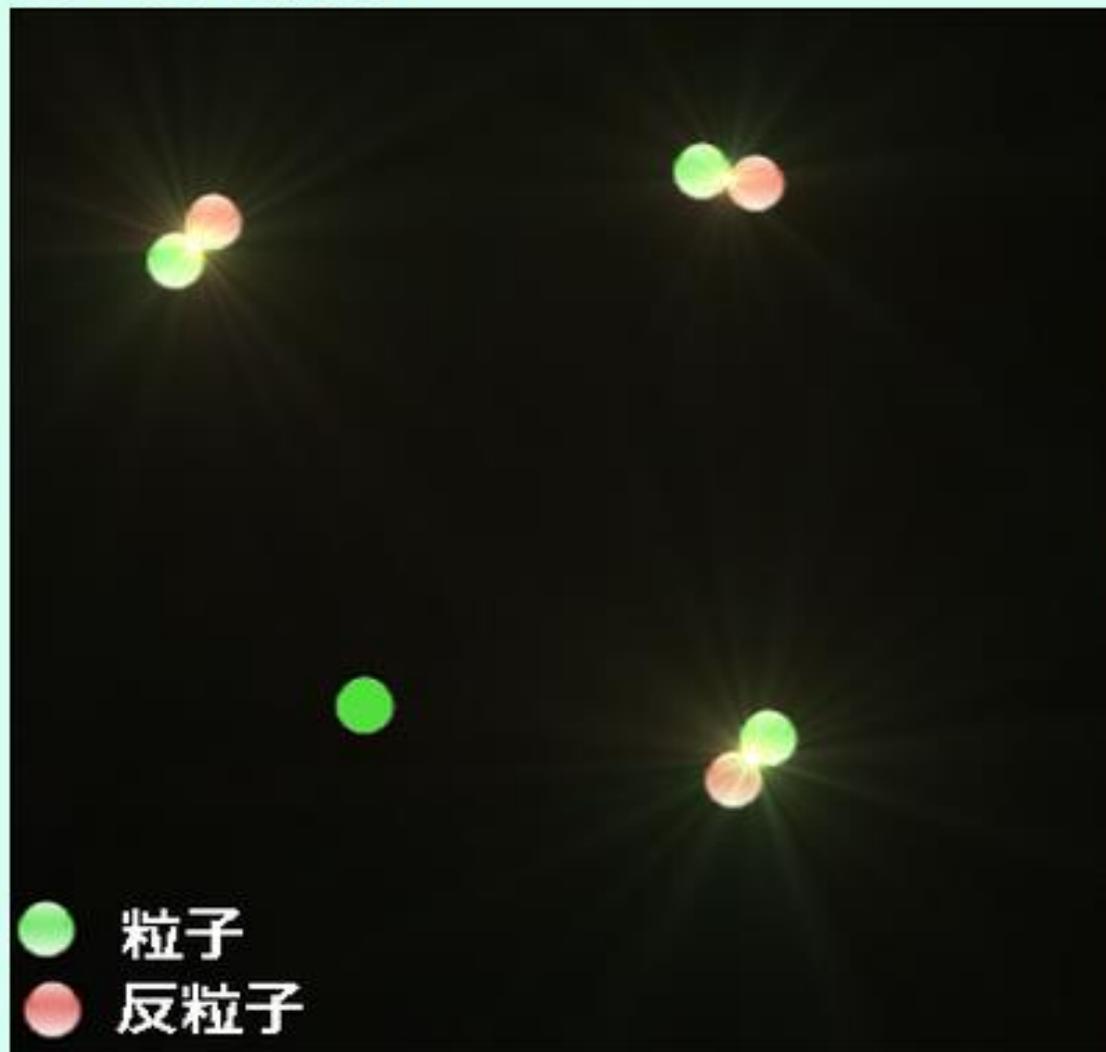
## 宇宙誕生時から今まで、無の空間に湧き出る粒子

宇宙には、膨大な数の素粒子や原子が存在する。これらの素粒子や原子を全て取り除くと、無の空間になるはずだ。ところが、ここにおける無は、私たちの通常概念とは異なる。素粒子も原子も存在せず、無になっているはずの空間で、無数の粒子が瞬間的に生まれ、瞬間的に消滅しているのだ。

一つひとつの粒子が存在する時間は余りにも短く、これらの粒子を直接に観測することはできない。存在の証拠は、間接的な実験の結果から得られる。2つの素粒子を、反対方向に光速度で飛ばして衝突させる、加速器の実験だ。この実験で、衝突のエネルギーから全く新しい素粒子が産み出される。

# 宇宙構造と多次元フィールド

無の空間に湧き出る「粒子」と「反粒子」



# 宇宙構造と多次元フィールド

無の空間に瞬間的に存在する粒子は、「粒子」と「反粒子」。これらの粒子は対生成され、生成後即座に衝突して対消滅する。しかし、粒子は、高次元世界のどこかから、間断なく私たちの宇宙へ供給されているので、供給が途絶えることはない。

不確定性原理によって、無の空間に湧き出る「粒子」の数は、「反粒子」よりもほんのわずかに多いという。しかし、ある特定の時間と空間においてはわずかでも、宇宙的な時間と空間を考えれば、合計は膨大な数になる。

\* \* \* \* \*

上に書いたように、ビッグバンの開始時点においても、「粒子」と「反粒子」が対生成されたと、考えられている。大部分の「粒子」は、「反粒子」と対消滅してしまったが、「反粒子」よりも「粒子」のほうがわずかに多かった。そのおかげで、今私たちはここに存在している。

ビッグバン後の宇宙の無の空間に生まれ、対消滅をまぬがれて、蓄積されたはずの膨大な量の「粒子」。ビッグバン時に、無から私たちの宇宙へ瞬間的に放出された物質エネルギーと比較しても、かなりの量になるのではないか？これらの「粒子」は、素粒子へと進化することが考えられる。

# 宇宙構造と多次元フィールド

## 3次元的な大小が無意味な世界

ここで、高次元世界から見た宇宙の大きさの意味について、考えたい。

私たちの宇宙は無から誕生し、誕生直後は極めて小さかった。誕生後のある時点で、宇宙の直径は1000メートルになったはずだ。この微小宇宙の中心に私たちがいたとする。そこから、どの方向へでも500メートルも歩けば、宇宙の端に到達したのだろうか？

宇宙の端とは何か？壁のように固いのか？両手で力一杯押しても、その宇宙の端の壁は微動だにしないのか？

高次元世界から見て直径1000メートルの宇宙。その中にいる私たち。この私たちの感覚では、無限大の宇宙の中にいるのと同じことになる。より高い次元から見れば、3次元空間は曲がっている。私たちはこの曲がった空間の中にいるので、3次元的には端を認めることはできない。500メートル歩こうが、1億キロ歩こうが、端に到達することはない。

# 宇宙構造と多次元フィールド

球の曲がった表面を想像すれば分かりやすい。2次元生物は、3次元的には有限の表面を歩いているが、どこまで行っても2次元世界の端に到達することはない。

あるいは、次のような説明をしてもいい。3次元空間に2次元の平面を描く。一辺が10センチの正方形だ。正方形の一方の辺にいる2次元の生物は、他方の辺まで最短でも10センチ歩かなければならない。3次元空間に住む私たちは、この生物を助けるために、歩く距離をなくすことができる。3次元的に平面を折り曲げればいい。2次元生物のいる辺を反対側の辺に接触させれば、2次元生物にとっては、それまでの10センチの距離が0になってしまう。

\* \* \* \* \*

# 宇宙構造と多次元フィールド

私たちの宇宙がその一部である高次元世界は、私たちの宇宙の尺度を使って、大きいとも小さいともいえない。4次元以上の空間に、3次元の尺度を当てはめることはできない。大きい、小さいは、縦、横、高さを座標とする3次元空間の指標だ。縦、横、高さの3つの座標に付け加わる次の座標を、私たちは想像することもできない。こんなことは、素人の筆者には分かり切ったことのように思えるが、理論物理学者は以下のように議論している。

「10次元世界に存在する私たちの4次元時空。残りの6次元は極端に小さく、3次元的には見えない。この6次元は丸く閉じていて、4次元時空に接触している」

# 宇宙構造と多次元フィールド

3次元空間の中に、あらゆる形と大きさの2次元平面を描くことができる。高次元世界の中には、あらゆる形と大きさ、それに時間の4次元時空が含まれていると考えるのが、自然だ。しかも、3次元空間に2次元平面を無数に描くことができるように、高次元世界に、無限の数の4次元時空が存在しても不思議ではない。

\* \* \* \* \*

この「無限」という概念は、驚くべき結論を導き出させる。

あらゆる4次元時空が無限の数だけ存在すれば、その中には、私たちの宇宙と全く同じものが含まれることになる。しかも、この同一の宇宙は無限に存在する。時間の視点からいえば、今のこの時点における私たちの宇宙と、同じ時点にある宇宙が存在することになる。その数はまたも無限。視点を異なる時間へ持っていけば、私たちと同じ宇宙の誕生から消滅に至るまでの、あらゆる時点にある宇宙が存在することになる。しかも、どの時点をとっても、同じ宇宙が無限に存在する。

## 宇宙構造と多次元フィールド

3次元空間に住んでいる私たちは、縦、横、高さのどの座標方向へでも、自由に動くことができる。ところが、この空間における時間の流れは一方的だ。過去から未来へ。私たちは、時間軸上においては、一方向へしか進むことができない。ここでは、私たちが住んでいる3次元空間の宇宙は、無から誕生したように見える。

異なる時空の宇宙においては、時間が未来から過去へ流れたり、流れ方が、私たちの宇宙とは根本的に異なることがあっても、不思議ではない。そこでは、宇宙の誕生から全てが始まるわけではない。

\* \* \* \* \*

# 宇宙構造と多次元フィールド

## 想像を絶するひもの実体

中心に原子核があって、その周囲を電子が回っている原子の絵は、誰もが見たことがある。原子核は陽子と中性子から成る。その陽子と中性子はクォークから成る。素粒子とはこれらのクォークや電子のことだ。素粒子は大きく2つに分けられる。

自然界の力： ボソン	電磁気力（光、X線など）、ウイークボソン（ニュートリノなどに働く弱い力）、グルオン（クォーク間に働く強い力）、重力
自然界の物質粒子： フェルミオン	クォーク（原子核）、電子、ニュートリノなど

電磁気力、ウイークボソン、グルオン、重力、クォーク、電子、ニュートリノなどが、超ひも理論のひもだ。

# 宇宙構造と多次元フィールド

\* \* \* \* \*

## 振動する開いたひも（動画）



超ひも理論との関係で、前に出てきたブレーンに説明を付け加える。超ひも理論の説明のためにブレーンを使い始めたのは、ポルチンスキーらだ。

最も単純なブレーンは0次元の0ブレーン。3次元空間の生物である私たちは、この0次元を知覚も認識もできない。例えば、点は0次元だ。0次元の点の直径は、0にならなければならない。ところが、私たちは、直径0の点を、イメージすることも描くこともできない。紙に点を描けば、その点は、どれほど小さくても常に直径を持つ。即ち、2次元の図形になる。

同様に、1次元も、私たちには知覚も認識できない。1次元の線には、長さはあるが幅はないはずだ。ところが、幅0の線を私たちは描くことができない。私たちが紙に線を描けば、その線には必ず幅がある。2次元図形だ。3次元の生物である私たちに認識できるのは、平面の2次元と立方体の3次元だけだ。

# 宇宙構造と多次元フィールド

振動する閉じたひも（動画）



超ひも理論のひもは、1次元のブレーンに乗っている。これは、私たちが住んでいる3次元ブレーンに含まれる、私たちには認識不可能な1次元のブレーンということになる。この1次元ブレーンは、5次元方向へでも10次元方向へでも、どの次元方向へでも自由に振動できる。4次元時空に存在するひもの振動は、6～10次元世界の影響を受ける。ひもの振動の方向と状態が変われば、異なる素粒子になる。

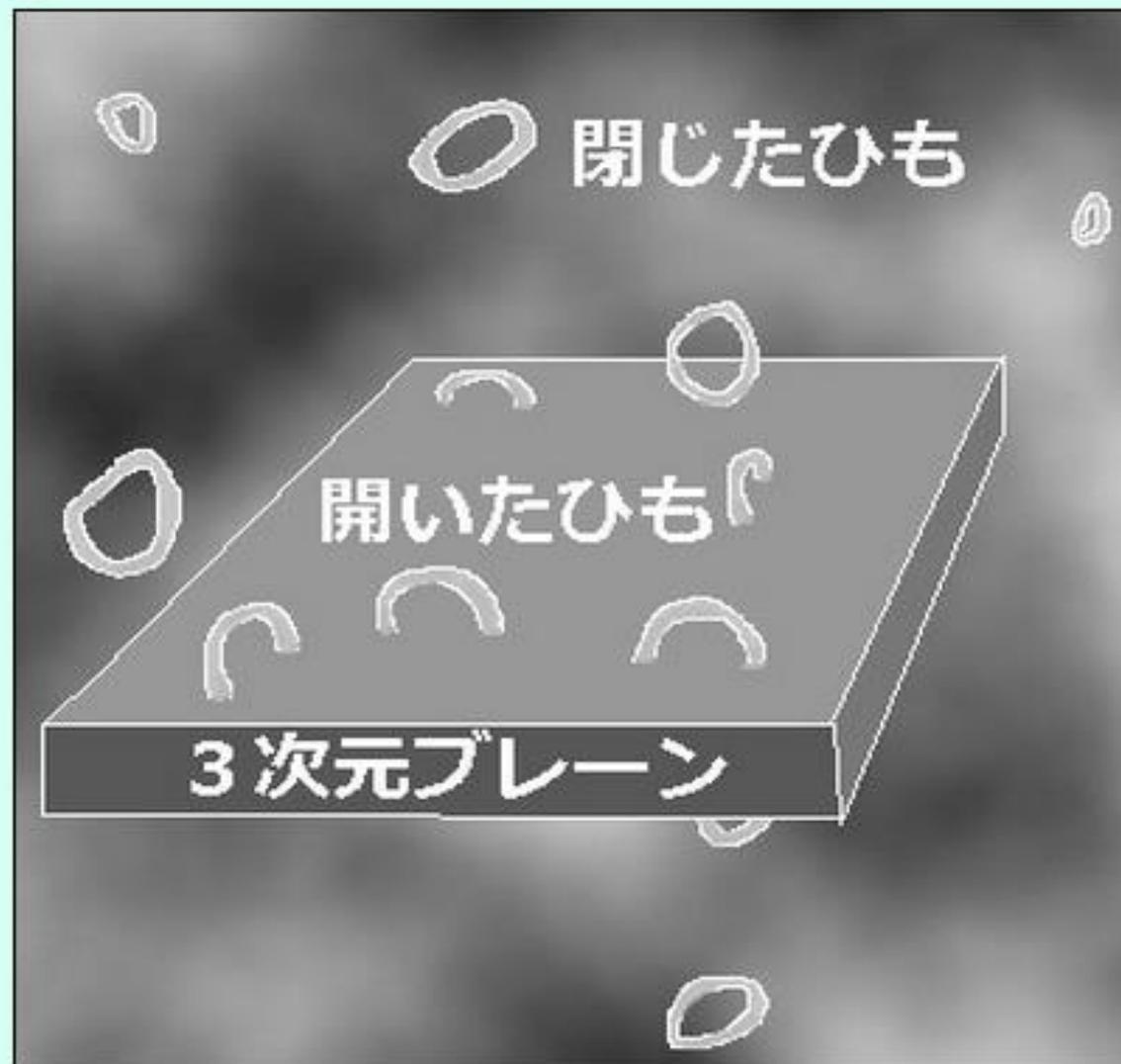
以上は仮説だが、この仮説を実証できれば、私たちが住んでいる4次元時空が、高次元世界の一部であることの直接の証明になる。

\* \* \* \* \*

電磁気力、ウィークボソン、グルオン、クォーク、電子、ニュートリノなどは、両端が開いた基本的には直線状のひもだ。これらのひもは、その両端で、次元的に様々な広がりを持つブレーンに付着している。重力子は、輪ゴムのような輪になっているので、ひもに端は存在しない。即ち、特定のブレーンに付着することはない。

# 宇宙構造と多次元フィールド

高次元世界に関わるひも



# 宇宙構造と多次元フィールド

私たちの宇宙は3次元ブレーンに乗っている。両端が開いたひもは、両端でこのブレーンに付着している。即ち、これらのひもは、私たちの宇宙から離れることはない。

端のない重力子はこのブレーンに付着しないので、より高次元の世界へ自由に動くことができる。4次元時空を離れることができるのだから、重力子は高次元世界を介して、瞬時に宇宙の端まで到達するかもしれない。また、今ここに存在している重力子が、どの時点の私たちの宇宙へでも、瞬時に移動できる可能性がある。高次元世界のどこかに存在する、他の3次元空間宇宙の重力子が、私たちの宇宙へ出現することも、否定はできない。

\* \* \* \* \*

なお、アインシュタインは、一般相対性理論で、重力の伝わる測度は有限、即ち光速であると述べた。天体観測によって、それを証明したという報告がある。しかし、重力波そのものを検出する方法がないので、この「証拠」を疑う物理学者は多い。

超ひも理論は、一般相対性理論に対して決定的な疑問を呈する。私たちの宇宙ブレーンに付着した光子と、高次元世界を移動する重力子が、3次元空間で同じ速度を示すことは考えられない。

一般相対性理論では、重力の作用を、4次元時空の曲がり（3次元空間の曲がりと時間の遅れ）と説明する。重力子が、より高い次元を動くことを考えると、4次元時空の全ての存在に影響を与えるという説明は、理にかなっている。

# 宇宙構造と多次元フィールド

## 私たちの宇宙はなぜ消滅しなかったのか？

ここまで議論を進めてくると、極微と極大の世界に、絶対的な差はないと結論づけたいくなる。極微世界で起こることは、極大世界でも起こる。その逆もある。あるいは、極微世界と極大世界は完全につながっている。同質だ。

\* \* \* \* \*

私たちの宇宙は、3次元空間的には無から誕生した。誕生直後の宇宙は原子よりも小さかった。素粒子よりも小さかった。それならば、今は何も存在しない目の前の空間で、突如新しい宇宙が誕生することはあるのだろうか？それも、最初は原子よりも小さい宇宙だ。

私たちの宇宙は、3次元空間のブレーンに乗っている。ブレーン同士が接触をすれば、新しい宇宙が産まれる。目の前で、私たちのブレーンが他の3次元空間ブレーンに接触し、新しい宇宙が誕生する可能性を、完全には否定できない。その時、私たちは瞬間的に消滅する。別の宇宙誕生を認識する前に、消滅してしまう。

\* \* \* \* \*

# 宇宙構造と多次元フィールド

## 無への回帰

次に、無からの誕生の逆になる無への消滅を考えてみる。巨大な質量を持った星が無限に小さくなる、ブラックホールが好例になる。

\* \* \* \* \*

限りなく小さくなるブラックホールは、最後にはこの宇宙から消えてしまうと、車椅子に乗った天才学者のホーキングは、予言した。ブラックホールに落ち込んだ物質エネルギーは、高次元世界へ移動してしまうと考えれば、話は簡単なように思われる。ところが、多くの物理学者は、ブラックホールの先に、観測も認識も不可能な高次元世界があることを、認めたがらない。物理学者の常識に支配されている、この宇宙に存在する情報（物質エネルギー）が跡形もなく消え去っては、彼らが信じる物理法則が、破壊されることになるからだ。

ホーキングもジレンマにおちいった。そして、ブラックホールへ吸い込まれた情報は、ホーキング放射によってこの宇宙へ戻されると、説いた。天才ホーキングも、結局は、私たちの3次元空間宇宙に閉じ込められているようだ。

ビッグバン直後の極微宇宙に、この宇宙の情報が含まれていた。これらの情報が、高次元世界のどこかから移動してきたのならば、私たちの感覚では無から湧き出たことになる。宇宙に存在する巨大な星がブラックホールになり、その物質エネルギーがこの宇宙から消えても、再び高次元世界へ戻るとすれば、何も矛盾は生じない。

# 宇宙構造と多次元フィールド

新しい量子論、それを敷衍した宇宙論は、私たちの宇宙が、高次元世界とどう関わっているのかを、示しはじめた。私たちの生存と、直接には関わりのない高次元世界。私たちの知覚や認識能と高次元世界は無縁だ。目に見える世界の物理法則の多くを捨てなければ、理解することはできない。最も野心的な理論物理学者の挑戦は続く。そして、筆者のように好奇心の旺盛な素人が、物理法則から離れて夢を自由奔放に語る。

# イデア・ボディ

## 語源

「イデア」という言葉は「見る」という意味の動詞「idein」に由来していて、もともとは「見られるもの」のこと、つまりものの「姿」や「形」を意味している。

## プラトンの哲学

まず、ギリシャ語の語彙体系について若干説明しておく、ギリシャ語では、見るideo系統の用語としては、ideinとeidoがあつた。eidoの過去形 eidon に由来する「eidos エイドス」という言葉のほうは「形」とか「図形」という意味でごく普通に用いられる言葉であつた。

プラトンにおいては、エイドスとイデアは使い分けられており、イデアに特殊な意味が与えられた。

プラトンは、イデアという言葉で、われわれの肉眼に見える形ではなく、言ってみれば「心の目」「魂の目」によって洞察される純粋な形、つまり「ものごとの真の姿」や「ものごとの原型」に言及する。プラトンのいうイデアは幾何学的な図形の完全な姿がモデルともとれる。

プラトンにおけるイデアの理解は一定しているわけではなく、書かれた時期によって変遷が見られるという。一般にプラトンのイデア論というと中期のそれを指していることが多い。

# イデア・ボディー

「徳とは何か？」という問いがある。これについて「不知なる対象の探求は不可能だ」と説く立場（探求のパラドックス説）もあるが、これに対してプラトンは「学習は想起（アナムネーシス）である」との想起説によって、このパラドックス説を斥ける。想起説は、魂は不死だとする説と、輪廻転生の説と連関がある。

●プラトンは次のように説明する。

我々の魂は、かつて天上の世界にいてイデアだけを見て暮らしていたのだが、その汚れのために地上の世界に追放され、肉体（ソーマ）という牢獄（セーマ）に押し込められてしまった。そして、この地上へ降りる途中で、忘却（レテ）の河を渡ったため、以前は見ていたイデアをほとんど忘れてしまった。だが、この世界でイデアの模像である個物を見ると、その忘れてしまっていたイデアをおぼろげながら思い出す。このように我々が眼を外界ではなく魂の内面へと向けなおし、かつて見ていたイデアを想起するとき、我々はものごとをその原型に即して、真に認識することになる。

## イデア・ボディー

つまり、真の認識とは「想起」(アナムネーシス)にほかならない、と言うのである。

想起説が導入されることでプラトンの哲学は、劇的な展開をとげ、強固な二元論の立場となった。そしてphilosophia (=愛知)とは「死の練習」なのであり、真のphilosopher (愛知者)は、できるかぎりその魂を身体から分離開放し、魂が純粹に魂自体においてあるように努力する者だとした。この愛知者の魂の知の対象が「イデア」である。

イデアは、それぞれの存在が「何であるか」ということに比較して、「まさにそれであるところのそのもの」を意味する。

# イデア・ボディー

イデア論(イデアろん)は、プラトンが説いたイデア(希: ἰδέα、英:idea)に関する学説のこと。

本当に実在するのはイデアであって、我々が肉体的に感覚している対象や世界というのはあくまでイデアの《似像》にすぎない、とする。

## イデア論の概要

「イデア」という語は、古代ギリシャ語の動詞「idein」(見る)に由来する。

プラトンの哲学では、《idea》(イデア)と《eidos》(エイドス)とを対比している。eidosというのもやはりideinに由来する言葉である。

ただし、ideaやeidosが哲学用語・専門用語として意味が固定したのは、弟子のアリストテレスが用いて以降であり、プラトン自身がそうした専門用語として用いていたわけではなかったという。

プラトンの説には変遷が見られる。ここでは初期、中期、後期に分けて解説する。

# イデア・ボディー

## 初期

プラトンの初期の哲学は、ソクラテスが実践したphilosophy (愛知) を描くものであるが、その根本の動機というのは《良く生きる》ことであるということ、また愛知の目的 (徳の「何であるか」の探求と学習) を明らかにしつつ、また「無知の知」を自覚させ、人間のpsyche (プシユケー、命、魂) を愛知の道の出発点に立たせようとする。

ソクラテスが倫理的な徳目について、それが《何であるか》を問い求めたわけであるが、それに示唆を得て、ソクラテスの問いに答えるような《まさに～であるもの》あるいは《～そのもの》の存在 (= イデア) を想定し、このイデアのみが知のめざすべき時空を超えた・非物体的な・永遠の实在・真实在であり、このイデア抜きにしては確実な知というのはありえない、とした。

# イデア・ボディー

## 中期

中期の哲学は、パイドン《想起》(アナムネーシス)という考え方の導入によって始まる。これは、学習というのは実は《想起》である、という説明である。つまり我々のプシュケー(魂)というのは不滅であって輪廻転生を繰り返しており、もともとは霊界にいてそこでイデアを見ていたのであって、こちらの世界へと来る時にそれを忘れてしまったが、こちらの世界で肉体を使い不完全な像を見ることによりイデアを思い出しているのだ、それが学習ということだ、という考え方である。(この《想起》という考え方によって、プラトンは「徳とは《何であるか》という問いに答えられないし、未知な対象は探求は不可能だ」とする「探求のパラドックス」は間違っているとする。)

そしてプラトンはphilosophy(愛知)というのは、まさに《死の練習》なのであって、真の愛知者というのは、できるかぎり自分のプシュケーをその身体から分離解放し、プシュケーが純粹にそれ自体においてあるように努める者だ、とする。そして愛知者のプシュケーが知る対象として提示されるのが《イデア》である。

# イデア・ボディー

プシュケーの徳に関して、《美そのもの》(美のイデア)《正そのもの》(正のイデア)《善そのもの》(=善のイデア)などが提示されることで、愛知の道の全体像が提示される。(《善そのもの》は、「知と真実の原因」とされ、太陽にも喩えられている)。

愛知者のプシュケーが、問答法によって《善そのもの》へ向かい、それを観ずることによって、自らのうちに《知と真実》をうむこと、そして《善そのもの》を頂点としたイデアを模範とすることで、自己自身である自分のプシュケーをそのイデアの似姿として形づくること、それがプラトンの思い描いたことである。

イデアの種類には、様々な一般的な性質に対応する「大そのもの」「小そのもの」などが提示された。「単相」「純粹」といった存在論からのものや、「知られるもの」といった認識論からのものも示された。

「美そのもの」と「美しいものども」との関係は、《分有》あるいは《与り》の関係であると言われ(「イデア原因説」と呼ばれる)。また前者が《範》であり、後者が《似像》として理解されるときは《類似》の関係だと言われる(「パラテイグマ」「範形イデア論」などと呼ばれる)。

# イデア・ボディー

## 後期

後期では、イデアの措定の困難を弁証的に越え、『第三人間論』などではイデア論批判なども行う。それとともに想起説などが取り下げられ、イデアやエイドスは、中期のそれとは異なったものになり、分割と総合の手続きにより新たに定義される問答法で扱われる《形相》あるいは《類》として理解されるようになる。

## 後世の人々

プラトンの弟子のアリストテレスは、《形相》や《類》の分割や交わりが引き起こす「1対多問題」や、定義の「一性」問題について考察しつつ、自己の哲学を確立していった。

およそ500年後のプロティノスは、万物は一者（善のイデア）から流出したとした（→ネオプラトニズム）。

イデアが実在すると考える考えは後にidealism（観念論）と呼ばれるようになった。そして「実在論」（realism）の系譜に属する、とされるようになった。

エネルギーフィールド

# エネルギーフィールド

## エネルギーフィールドとは

この世に存在する私たち 人間はもちろん空間や場、鉱物 植物 動物あらゆる生命体には、エネルギーフィールドが存在します。

エネルギー・フィールドとは、その生命体や場が出している波動 また宇宙エネルギーとの共鳴体。

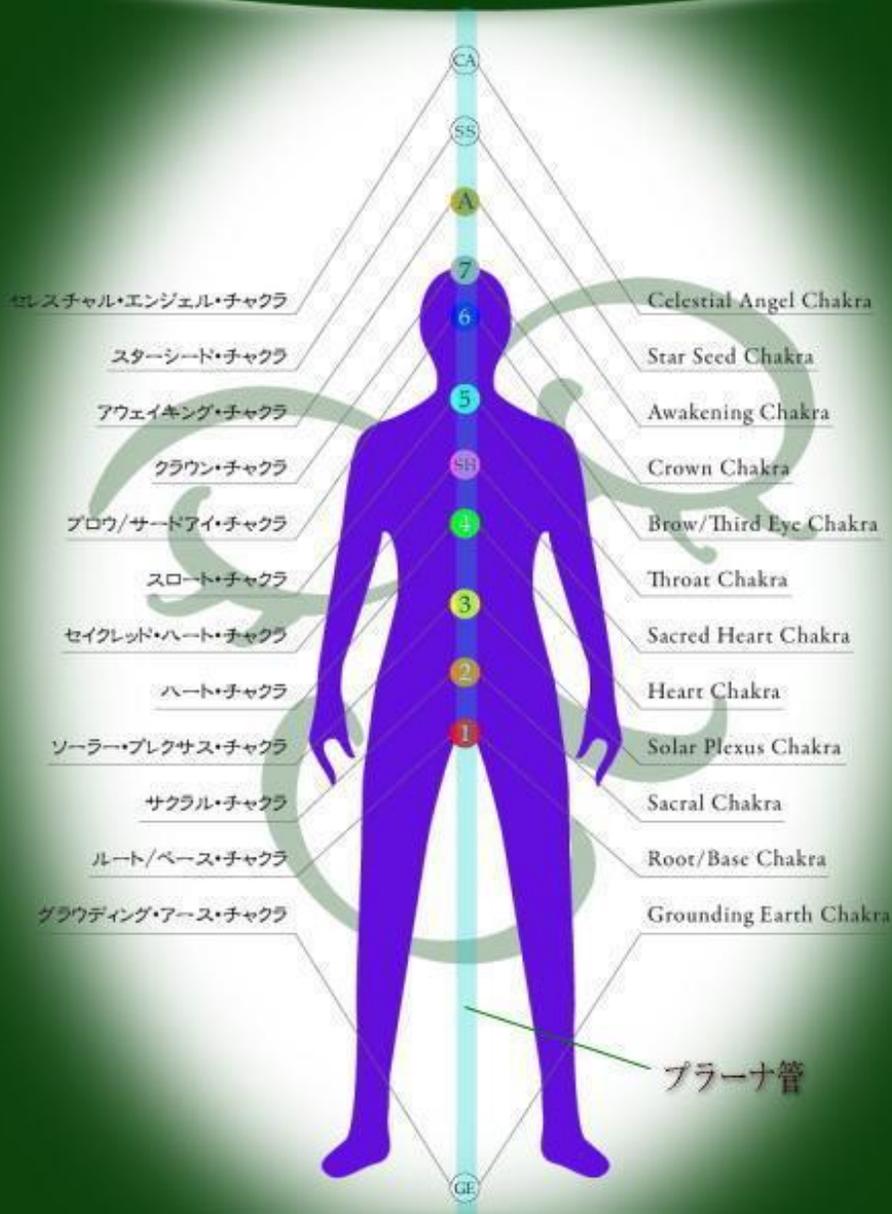
目に見えない世界をとりまくエネルギー構造 といえるでしょう。

人間を取り囲むように存在しているエネルギーフィールドは、ヒューマン・ボディ・フィールドと言います。(以下をH・B・Fと略す)

人を取り巻いている というと オーラを思い出す方も多いと思いますが 実際はもっと複雑で量子物理学での研究が必要なほど奥深いものです。

# Energy Chakra Vision

by Mama Sophie



Close Your Eyes

エネルギーフィー  
この世に存在する私た  
体には、エネルギーフ  
エネルギー・フィールド  
の共鳴体。  
目に見えない世界をと  
人間を取り囲むように  
ルドと言います。(以下  
人を取り巻いている  
複雑で量子物理学での

植物 動物あらゆる生命  
動 また宇宙エネルギーと  
う。  
ヒューマン・ボディ・フィー  
と思います 実際はもっと

# エネルギーフィールド

## 人間の身体について

人間には実体としての体と機能を交えた身体が有りますが、実は更に外側に何層かのエネルギーの層を持っています。この層をエネルギーフィールドと呼び、代表的には3つの層が有ります。

医学の治療の基本は実体の体に対して行われますが、現実には薬のもつ物質のエネルギーでエネルギーフィールドにも働きかけられています。ホメオパシーのレメディーはその最たる物です。

オステオパスは、身体の持つリズムを使って、3層にそれぞれ働きかける事で、治療に利用します。

子どもは生まれてから徐々に、成長する中で、回りのフィールドを変化させていきます。私達は日常生活の中で、年齢に応じた雰囲気や言葉を言葉として表しています。例えば、元気な赤ちゃんとか、お兄ちゃんになったねえとか、おしゃまな女の子・反抗期の息子・娘などです。その子がその時に持つフィールドを感じているのです。

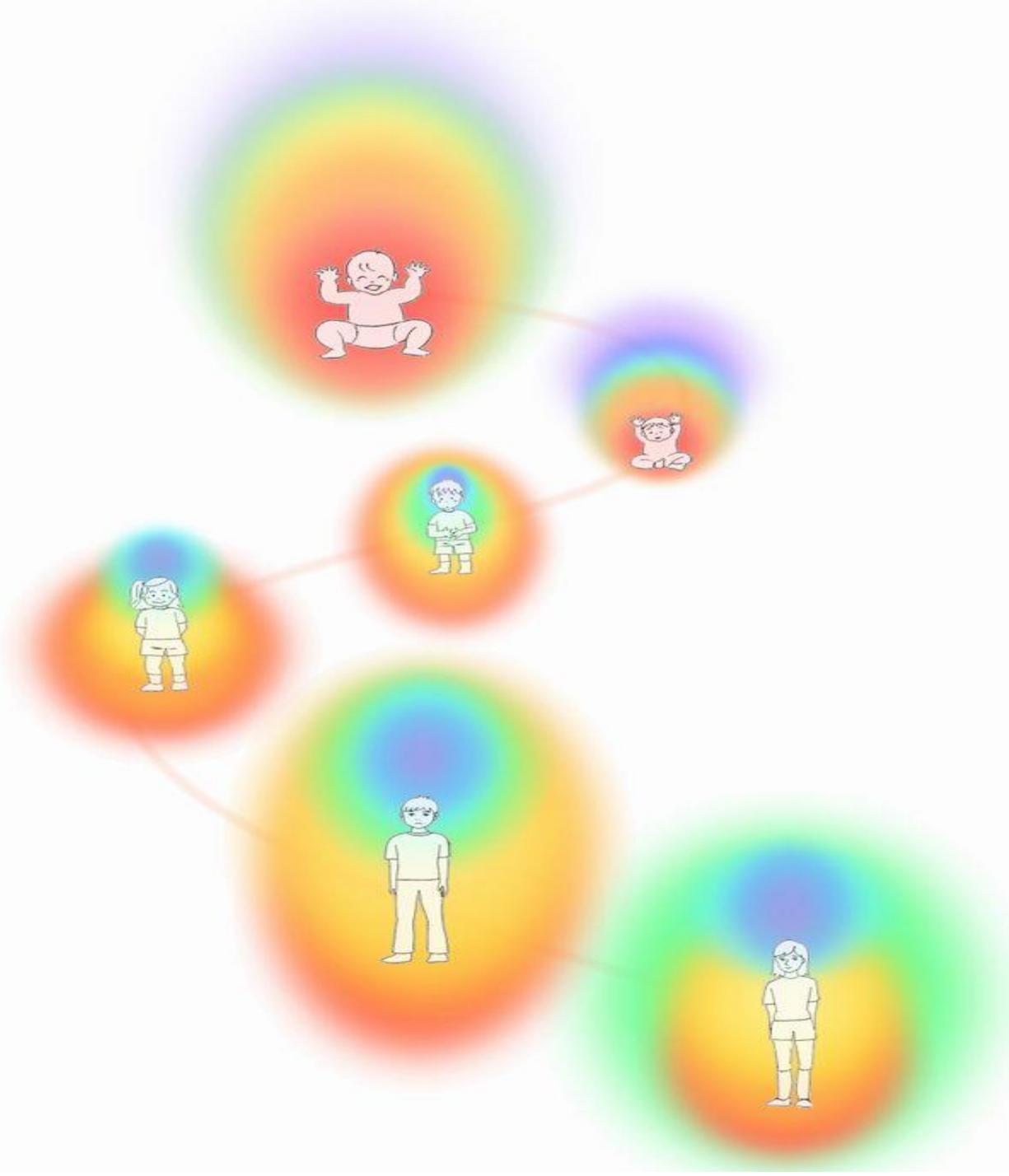
## 人間の身体につ

人間には実体として  
層を持っています。

医学の治療の基本は  
エネルギーフィールドに

オステオパスは、身

子どもは生まれてか  
の生活の中で、年齢  
ちゃんになったねえ  
フィールドを感じてし



何層かのエネルギーの  
層が有ります。

質のエネルギーでエネ  
の最たる物です。

で、治療に利用します。

ていきます。私達は日常  
気な赤ちゃんとか、お兄  
の子がその時に持つ

# エネルギーフィールド

## 2. 一番目の層 実体として存在するエネルギーフィールド

1, 最初の層は身体の実体のすぐ外側に存在します。距離で言うと3センチから10センチ程度のエリアです。

(インナーエーテル帯)

2. 実感としては、温かさとして感じる事ができます。両手の平を向かい合わせにして近づけて行くと、ある所で温かさを感じます。身体の部位や身体の状態・その時の状況によっても変化しますが、3センチから10センチの所で感じれると思います。



# エネルギーフィールド

## 2. 二番目の層 (アウターエーテル帯)

1:この層は身体から20センチから1メートルくらいの層として存在します。オーラと呼ばれる事も有ります。インドのベーダの考え方では、チャクラと呼ばれる7つの場所からのエネルギーの循環と考えられています。西洋医学的には、神経の集まりの神経叢の場所とほぼ一致します。神経の集まった所と言う意味では、その活動エネルギーも大きく、特別に大事な場所である事は確かです。

2:実感としては、自分の持つ個人的な領域として感じる事が出来ます。身体に触れられる次に敏感に反応します。自分を守るための最低の境界線で、感情的な事との繋がりが大きく、快不快を感じるエリアです。

3:電車に乗ったとき、列に並んだ時、立食のパーティー等で、実際に触れている訳ではない状況で、隣に来た人の実態としてよく感じます。

# エネルギーフィールド

## 2. 二番目の層 (アウターエーテル帯)

1:この層は  
ます。イン  
れていま  
言う意味

2:実感と  
反応しま  
リアです。

3:電車に  
隣に来た



る事も有り  
盾環と考えら  
まった所と

る次に敏感に  
を感じる工

よい状況で、

# エネルギーフィールド

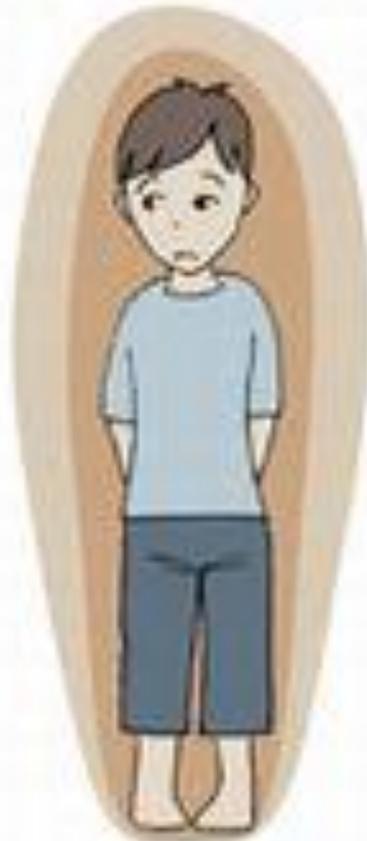
## 二番目の層：(アウターエーテル帯)

この層は体のすぐ外側にある1番目の層を守る層です。さらに自分の身体と外の世界をつなぐ層で、体の中と外のエネルギーの循環をしています。自分のパーソナルなエリアと他の人と共有しているエリアの間で、クッションの様な働きをします。実際には1分間に2～3回のレートの動きとして感じる事ができるリズムの調整をします。

# エネルギーフィールド

## 二番目の層: (アウター)

この層は体のすぐ外側にある  
の世界をつなぐ層で、体の中  
パーソナルなエリアと他の人  
きをします。実際には1分間  
リズムの調整をします。



本と外  
分の  
様な働  
できる

# エネルギーフィールド

## 2. 二番目の層 (アウターエーテル帯)

1:クッションのような働きををすると言う事は、当然他からの影響も受けると言う事です。苦手な人と会った後や、調子の悪い人の世話をすると、自分も何となく気持ちが落ち込むのはこのエリアの影響です。普段元気な人でも、家族の人が病気になって、その介護をすると想像以上に疲れます。単に看病という以外にこの層への影響があるからです。花などを置く事で多少防げます。

2:赤ちゃんは全身からエネルギーが満ち溢れています。実際に満ち溢れているからそう感じるとも言えます。自分が未知な雰囲気を持つ人に対して、敏感に反応して、泣いたり怖がる姿はしばしば見かけます。赤ちゃんを治療するとき大人と大きく違う点は、血液・脳脊髄液・リンパなどの体液の循環やそれに伴うエネルギーの循環の調整が主になる事です。

# エネルギーフィールド

## 2. 二番目の層 (アウターエーテル帯)

1:クッションのような働きをすることや、人と会った後や、調子の悪い人の世話をすることの影響です。普段元気な人でも、家族の病気で疲れます。単に看病という以外にこの層への影響を受けます。

2:赤ちゃんは全身からエネルギーが満ち溢れる状態とも言えます。自分が未知な雰囲気を持つ人に出会ったとき、赤ちゃんを見かけます。赤ちゃんを治療するとき、赤ちゃんの体液の循環やそれに伴うエネルギーの



苦手な人のエリアに疲れが蓄積されます。

う感じると、姿勢はしばしばソパなど

# エネルギーフィールド

## 2. 二番目の層 (アウターエーテル帯)

3:この層は感情に影響する層でもあります。感情は自分の内面と接する外の世界とのバランスで成り立つ面があります。雄大な自然や芸術に触れることで、感情面に良い効果があるのはそのためです。

外との接点としてのこの層を調整することで、安定した状態を維持できます。何が原因か分からずに落ち込んだり、イライラするときは、この層に何らかの異常がある場合が多く見受けられます。実態と関連して傷ついている場合には先にそこを治療して、その後でこの層を整えます。

# エネルギーフィールド

## 2. 二番目の層 (アウターエーテル帯)

4: 消化器系の弱い人は、ストレスの影響を受けることで、胃や腸に負担を感じます。ストレスもこの層で感じます。内臓などの体内の器官が弱くなるとこの層も小さくなったり弱くなったりします。結果さらに内臓に負担を感じる悪循環を起こします。この層の活力を上げることで、悪循環を断つことができます。

実際の例としては、仕事などでちょっとしたストレスを受けても、すぐに胃腸の調子を崩していた人が、この治療を受けることで、徐々に崩さなくなったり、少量の薬で効果が出るようになります。

# エネルギーフィールド

## 2. 二番目の層 (アウターエーテル帯)

4: 消化器系の弱い人は、ストレスの層で感じます。内臓などの体内の結果さらに内臓に負担を感じる悪循環することができます。

実際の例としては、仕事などで忙しい人が、この治療を受けることで、徐



くもこ  
ます。  
を断

いた  
ます。

# エネルギーフィールド

## 2. 二番目の層 (アウターエーテル帯)

5:この層は、体外の循環の層です。睡眠中にでる各脳波は、この層で循環します。循環することで、内臓などの器官を整えます。この機能が無くなると体をリセットできないために、慢性的な疾患になります。この層の調整は慢性疾患を治療する第一歩になります。

6:体を酷使して仕事をする人もこの層が消耗します。消耗することの最大の短所は自分の不調に気が付かなくなってしまう事です。気が付いたら体がボロボロで手の施しようがないという人はこの層の消耗がひどい人です。身体を酷使している自覚のある人は日頃からこの層の調整が必須です。

# エネルギーフィールド

## 2. 二番目の層 (アウターエーテル帯)

7:オステオパシーで扱うトラウマリリースは、感情と臓器や器官が持つ組織の記憶の両面からのアプローチになります。

外傷や、身に危険を感じた時等には、怖い・痛い・びっくりした等の他に、体の緊張が残ります。同じ気持ちになった時や同じ状況になった時には、体も緊張します。この緊張を繰り返すことで、トラウマが大きくなります。身体の緊張をトラウマが受けた状態に近付けることで、できるだけ再現して、その状態で脳と身体各組織のバランスをとります。

# エネルギーフィールド

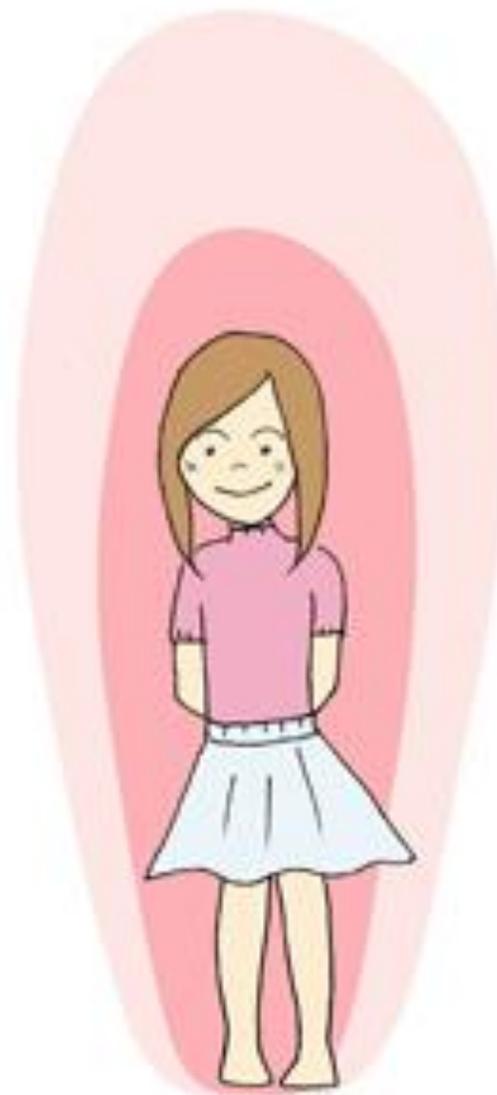
## 2. 二番目の層 (アウターエーテル帯)

8: 体全体としてのバランスを取って、治癒力を高めることが大事です。実際に動いている実質の臓器や器官と、それを支える層と、全体のバランスを整える層の調整をすることで、快適な状態を維持したり、より良い状態に近付けることができます。以前にいらしていた大工さんから興味深い話をお聞きしました。もともとは腰の持病でいらしたのが、純和風の建物等を、のこぎりとカンナとのみで仕上げていく時に、手元が狂ったり、はめ込む時に、木槌で打つときに自分が思ったようにいかなくなると治療に来るのだそうです。職人さんの持つ勘と身体のバランスは表裏一体というところでしょうか。

# エネルギーフィールド

## 2. 二番目の層 (アウターエーテル帯)

8: 体全体としてのバ  
いている実質の臓器や  
調整をすることで、快  
きます。以前にいらし  
は腰の持病でいらした  
げていく時に、手元が  
ようにいかなくなると  
ンスは表裏一体とい



際に動  
る層の  
とがで  
ともと  
で仕上  
思った  
のバラ

# エネルギーフィールド

## 3. 三番目の層 (アストラル帯)

この層は更に外側の層で、気配や威圧などを具現化するそうです。プロスポーツの選手などの様に、相手との間合いを感じたり、自分の空間を大きくして自分自身を際立たせる時、また感覚的により大きな空間を扱う人に、必須の層です。以下に示した人たちには特に重要です。

1:プロスポーツ選手として体を使う人

2:デザイナーや芸術家の様に感覚的に脳を使う人

3:創作活動をする人: アイディアの想出

# エネルギーフィールド

# Did You Know



**...the human heart's magnetic field can be measured up to several feet away from the body?**

# エネルギーフィールド

動くモノの周りには、360度の無限循環エネルギーフィールドがあります。

それを、「トーラス」と呼び、

そのエネルギーの流れを整え活性化していくと、健康、意欲、人間関係、コミュニケーション、経済力、知恵など、人生を充実して過ごすための、すべてのバロメーターが上がってきます。

# エネルギーフィールド

動くモノの周りには

それを、トータル

そのエネルギー

ケーション、経済

ターが上がって

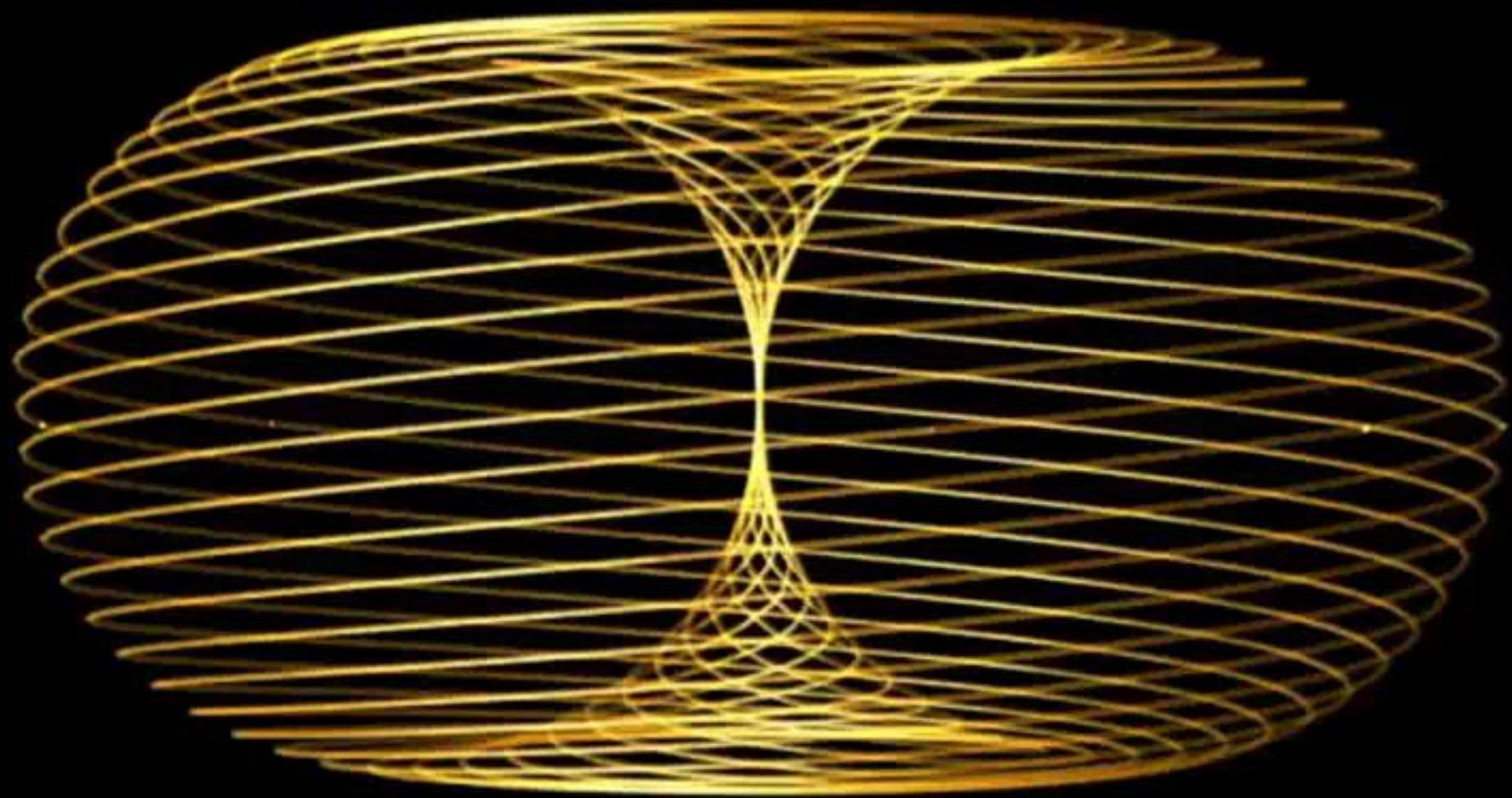


ります。

関係、コミュ

べてのバロメー

# Shape of the Universe



Orange Theory

# エネルギーフィールド

1995年に量子物理学者のウラジミール・ポポニン博士が、「DNAファントム効果」という論文を発表しました。

そこには、真空のチューブ内に分散した光子に人間のDNAを近づけると、光子がひとりだけで整頓し、さらに、DNAを遠ざけた後も光子は整頓したままだったという、驚くべき実験の結果が記されていました。

「DNAはこの世界のエッセンスといえる光子のふるまいを変えたのです。この実験は、古来の伝承やスピリチュアルな文書がずっと昔から伝えてきたこと、すなわち私たち人間は、周りの世界に直接影響を及ぼす存在であることを証明しています。」グレッグ・ブレイテン著『聖なるマトリックス』より

## エネルギーフィールド

この研究は、人間の存在そのものがどれほど確実に物理世界に影響を及ぼしているかということを示すものとなりました。その後もこうしたエネルギーフィールドに関してさまざまな研究が世界中の量子物理学者の間で行われていますが、いまだにこの物理的な世界の空間に存在するとされている場、フィールドについて統一した見解は得られていません。

ただ、グレッグ・ブレイトンの言葉にもあるように、このことは古くから伝承され、また文書に書かれた叡智として残されてきていることで、昔も今も、彼が「聖なるマトリックス」と呼ぶそのエネルギーフィールドはここに存在し続け、私たちはそれとともに生活しているのだと思います。

## エネルギーフィールド

ボディワークやエネルギーワークを通じて、日々、人体のエネルギー的な働きを見つめ続けていると、人間の体がいかにこのようなエネルギーフィールドと深く関わり、人間の意識が肉体やその周りにどれほど大きな影響を与えているかを目の当たりにさせられます。

体内のエネルギーの流れを感じ、身体の全体的な整合性をとらえ、その変化を見つめながら肉体的な緊張を解き、痛みや負担を軽減していく、といった物理的なワークの奥深くで起きている変容のプロセスには、クライアントとセラピスト双方の意識と、二人を包むエネルギーフィールドが互いに影響しあいながら一つの望まれる状態に向かっていくという現象が常に含まれているのです。

# エネルギーフィールド



## エネルギーフィールド

『ユニバーサルエネルギーとは、自然界では粒子で気流や水流のような流体運動をし、粒子は原子よりも小さく、物体の第5の状態の「**バイオプラズマ**」と言われるものでもある。』

『このエネルギーは物質界とエネルギー界の中間に存在している。』

『すべての空間、生物や無機物に浸透しすべての物体をお互いに接続している。一つの物体から別の物体に流れ、密度は距離に反比例して変化していく。そして調和的誘導と共鳴音の法則（音叉を鳴らすと近くの別の音叉が同じ周波数で振動する共鳴現象時に起こる法則）に従う。』

# エネルギーフィールド

そのユニバーサルエネルギーフィールドを

**「超感覚知覚力」で視ると・・・**

『視覚による観察では、フィールドは幾何学的点と独立した光の脈動点、螺旋系、ラインの網の目状を形成し、閃光の中や暗闇の中でも高度に組織化された状態である事がわかる。』

『それは脈動し、触れる事が出来、味や匂いや音、また発光を通して超感覚知覚力に認識される。』

## エネルギーフィールド

そして黄色の網網と渦の層は私の動きについてくる時と、動きに影響されない時があるのです。

また後で纏めますが、人体のオーラの7層目も網目が含まれるらしいし、チャクラは渦で見える(でも漏斗状) そうなので、動かない時はユニバーサルエネルギーの層を見ていて、動く時はヒューマンエネルギー(オーラ)やチャクラの層に合わせて見えているのかな？

## エネルギーフィールド

どうして私にそんなものが見えるのかは分からないのですが、私も幼少期から草むらや屋根の上に寝転がって、自分の体の細胞が分解されて空気に溶けていくイメージをしてその心地よさを味わっていました。

お風呂でもプールでも海でも同じように水の中に溶けていくイメージをしては、自然と一体化する感覚を楽しんでいました。

ソマチット？

# エネルギーフィールド

今日はちょっと元気がない感じた、だからすぐに元気を取り戻すためにとなりの次元からのエネルギー源に触れることにしよう。

似非科学への信仰がはびこっている。どっちを向いても、心霊現象、天使、ニューエージ療法、古代の健康法などを、科学では理解されていない神秘的なエネルギー・フィールドを根拠に、頭の良い人々がそれらを完全に受け入れてしまう。

これらのほとんどの超自然現象は“エネルギー”に依存している。パフォーマーは説明するようにと頼まれると、説明や正当化するのに親しみのある言葉が必要な、人体からのエネルギー・フィールド、宇宙エネルギー・フィールド、気、プラナ、オルゴン、ネガティブ・エネルギー、ポジティブ・エネルギー、その他なにについてでも彼らは喜んで講義をするでしょう。明らかに、エネルギーが実際に何かということがほとんどの人が見当がつかないほどエネルギーという言葉にあまりにも多くの勝手な解釈がある。

# エネルギーフィールド

ちょっとしたヒーリングをすることができるということを友達がわたしに話してくれた時に、彼女の最善の説明は別の次元からエネルギーを引き寄せるといったことだった。

彼女は、異次元や代替現実を使って説明するのに十分な心の準備ができていた。なぜなら実際に科学では何も理解できていないので、それらのことを反証できないからだ。

彼女が別の次元とコンタクトできるとわたしが認めるとしよう。

実際のところ10や11の次元が漂っているということを最新の M 理論は自明のこととみなしているからだ。

ただ、わたしの友達の次元が不可能なほど小さい空間につぶれてしまう次元のうちのひとつでないことを祈る。わたしがほんとうに興味があるのは、彼女がコンタクトできるという、曖昧に定義されたエネルギーの実態だ。

# エネルギーフィールド

どんなタイプのエネルギーでどうやって保存されてるのか？

熱なのか？

回転するはずみ車なのか？

爆発性物質なのか？

食べ物なのか？

これらはエネルギーを保存する実際の方法の例なのだ。

人気のニューエイジ文化では、どういうわけか“エネルギー”という言葉そのものが物の名前のようになってしまうている。“エネルギー”は、熟練者が力を引き出して元気づけることができる、光を発して宙に浮いてきらめく雲のようなものと考えられている。オリジナルのスタートレック・シリーズに出てきた蒸気のような生物を想像してもらえれば、ニューエイジの人々がエネルギーをどんなものと考えているかの見当がつく。

## エネルギーフィールド

実際のところ、エネルギーは物の名前ではまったくくない。エネルギーとは、物が持っている仕事をする能力の容量のこと。

このことを考えに入れると、心霊術師があなたの体のエネルギー・フィールドについて話している時は、ちょっとでも意味のあることすら言っていないのである。それにもかかわらず、このような話がわれわれの文化にあまりにも普及してしまつて、ほとんどのアメリカ人がエネルギーとは独立した力で光を発する雲として浮かんでいて心霊術師が思いのままに操れる存在だということを受け入れてしまっている。

# エネルギーフィールド

エネルギーに関する簡単で具体的かつ科学的な定義の良く知られた権威者が存在する。誰でも知っているがほとんどの人がそれを理解するのに必要な30秒すら費やそうとしないアインシュタインの公式  $E=mc^2$  を例に挙げよう。

エネルギーは質量かける光の速度の二乗に等しい。簡単にしてみよう。質量はグラムで表すことができるし、速度は秒速何メートルとして表すことができる。したがって、物体のエネルギーは何グラムかを一秒間に何メートルか動かすのに必要な仕事の量に等しい。エネルギーとは仕事の量である。

## エネルギーフィールド

もし、わたしが石を持ち上げるとすると、わたしがその石を落とした時にテーブルの表面を1センチへこませるのに必要な位置エネルギーを与えていることになる。パワーバーを食べた時にわたしの血流が吸収する化学エネルギーのカロリーは、わたしの筋肉に庭の土を200ポンド(91キログラム)掘るのに十分な力を与える。宙に浮かぶ光る雲や人間の魂によって発せられる神秘の力についてアインシュタインはどこにも述べていない。

# エネルギーフィールド

心霊術師がエネルギーについて述べる時は、エネルギーという言葉に親しみがあるからとか科学的だという理由だけで彼らが言っていることを鵜呑みにしないで欲しい。ほとんどの場合、彼らの“エネルギー”という言葉の使い方には意味がない。神秘的な力や能力を説明するのに“エネルギー”という言葉が気軽に使われたときは、それが何かを明らかにするように求めなさい。エネルギーが何かを定義するように求めなさい。熱なのか？ 回転するはずみ車なのか？

良いテスト方法として、霊的または超自然的に“エネルギー”という言葉が使われたら、“測定可能な仕事の能力”という言葉に置き換えてみなさい。置き換えた後でもその言葉の使い方にまだ意味があるか考えてみなさい？ その主張を支持する情報を実際に与えられたのか？ エネルギーそのものは測定されるものではなくて、エネルギーとは仕事の量または潜在的な量だということを思い出しなさい。

# エネルギーフィールド

以下のクンダリーニ・ヨガの主張を例に挙げてみよう：“**休止状態の霊的エネルギーの放出と昇降が志望者の要素の効果を超越させ意識を達成することを可能にする**”。

もしエネルギーが奇跡を実現するためにどこにでも自由に移動できるきらめく雲だとしたら意味があるかもしれない。しかし、エネルギーはそんなものではないので、この場合“測定可能な仕事の能力”という言葉に置き換えると、この主張は“エネルギー”という言葉そのもの以外は何も測量または数量化しようとしてないことがわかんと思う。“休止状態の霊的な測定可能な仕事の能力”とあるが、その情報は何も与えられていない。これではあまりにもあいまいだということが解らんと思う。この主張に価値を持たせるとするなら、彼らは少なくともこのエネルギーがどうやって保存されていてどうやって現れるのかを説明するべきだろう。

# エネルギーフィールド

在的なエネルギーは脂肪細胞の化学物質として保存されているのか？ 人体を通して広がることのできる熱なのか？ 測定可能な電磁気量なのか？ だとしたらどこに磁石があるのか？ それがなんだとしても、定義としては**測定可能で正確に数量化**できなければエネルギーと呼ぶことはできない。

医者や薬剤師がエネルギー・フィールドについて話さないのにはそれなりの理由がある。意味がないからだ。心を開いてエネルギーが関与する主張を聞くことは一般的には良いことだとは思いますが、懐疑的かつ科学的に接して欲しい。このような主張を次に聞いた時は**“測定可能な仕事的能力”**という言葉に置き換えれば、馬鹿げたことと、まともなことを区別するのに十分な知識を持っていることになる。

意識外ストレス

# 意識外ストレス

- 【電波 (高周波)】～日本の基準値 $1000 \mu W/cm^2$
- 欧州は $0.1 \mu W/cm^2$ 以下です  
 $0.2 \mu W/cm^2$  ( $2mW/m^2$ ) 以上: 小児白血病が倍増  
 $0.0006 \mu W/cm^2$  ( $0.006mW/m^2$ ) 以上: 睡眠障害、疲労倦怠感、抑うつ傾向、心臓血管障害

【電場 (電界)】～日本、基準値ナシ～

$20V/m$ 以上: 小児白血病が4.69倍に有意に増加。by 1995年コギール (英)

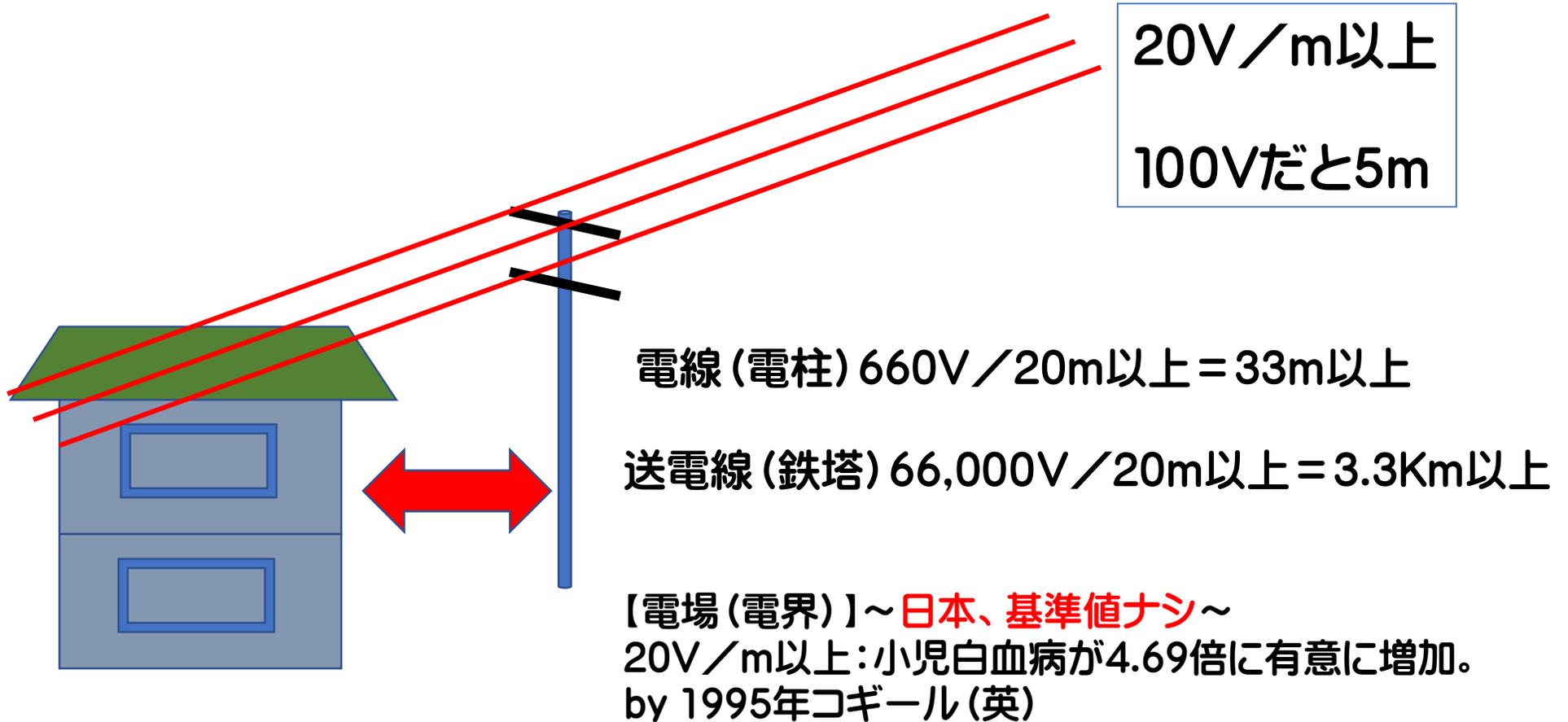
※ 磁場被曝より電場被曝の方が自殺率が高く、2.76倍。

【磁場 (電界)】～日本の基準値 $2000mG$ ～←先進国は $4mG$ 以下です。

$2$ ミリガウス ( $0.2 \mu$  テスラ) 以上: ヒトへの発がんに影響する危険性。

$4mG$  ( $0.4 \mu T$ ) 以上: 小児リンパ性白血病が4.73倍、小児脳腫瘍が10.6倍に増加

# 【電場 (電界)】～日本、基準値ナシ～



※ 磁場被曝より電場被曝の方が自殺率が高く、2.76倍。

# 意識外ストレス

- 一般的な家電製品からの電磁波発生量・磁場測定値の一例になります

エアコン200mG

ホットカーペット2000mG

カラーテレビ200mG

ステレオ20mG

アイロン3mG

ヘアドライヤー700mG

電気こたつ2000mG

掃除機200mG

ビデオデッキ6mG

洗濯機30mG

電気シェーバー100mG

電子レンジ200mG

炊飯器40mG

冷蔵庫20mG

コーヒーマーカー1mG

ファックス2mG

# 小児ガンの発生率について

ガンの種類	磁場強度	増加率
白血病	1 m G 以上	1. 0 倍
	2. 5 m G 以上	1. 5 倍
	4 m G 以上	6. 0 倍
中枢神経腫瘍	1 m G 以上	1. 0 倍
	2. 5 m G 以上	1. 5 倍
	4 m G 以上	6. 0 倍以上
悪性リンパ腫	1 m G 以上	1. 0 倍
	2. 5 m G 以上	1. 5 倍
	4 m G 以上	6. 0 倍
3 腫瘍合計	1 m G 以上	1. 0 倍
	2. 5 m G 以上	1. 5 倍
	4 m G 以上	6. 0 倍以上

※ 「技術と人間」 1994年11月号より

# 小児ガンの発生率について

ガンの種類	磁場強度	増加率
白血病	1. 1 m G 以上	1. 0 倍
	2. 5 m G 以上	1. 5 倍
	3. 4 m G 以上	6. 0 倍以上
中枢神経腫瘍	1. 1 m G 以上	1. 0 倍
	2. 5 m G 以上	1. 5 倍
	3. 4 m G 以上	6. 0 倍以上
3腫瘍合計	1. 1 m G 以上	1. 0 倍
	2. 5 m G 以上	1. 5 倍
	3. 4 m G 以上	6. 0 倍以上

すばらしい日本の基準? ... 日本の基準値2000mG  
IHクッキングヒーターの平均値は500mG程度以上!

※「技術と人間」1994年11月号より

# ブラジャー着用で乳がん21倍の米研究

●女性の皆さまなら、ブラジャーはやっぱりワコール、いいエトリンプよ、などいろいろこだわったり、こだわったりされた時期があるかと思いますが、昨年のニュースなのですが、衝撃的な研究発表が！

ブラジャーを毎日12時間以上着用すると、乳癌のリスクが21倍に増大(米国の研究機関発表)



パラボラアンテナ(笑い)

# ブラジャー着用で乳がん21倍の米研究

●女性の皆さまなら、ブラジャーはやっぱりワコール、いいエトリンプよ、などいろいろこだわったり、こだわったりされた時期があるかと思いますが、昨

ブラジャ  
金属製品を体につけると、  
乳癌のリスクが21倍に増大(米国の研究  
機関発表)

金属のネックレスやブレスレット、金属のベルトの時計など  
金属製品を体につけるのは電磁波被爆しやすくなる!



パラボラアンテナ(笑い)

# ブラジャー着用で乳がん21倍の米研究

●女性の皆さまなら、ブラジャーはやっぱりワコール、いいエトリンプよ、などいろいろこだわったり、こだわったりされた時期があるかと思いますが、昨今、ストレスなので、街

**意識外ストレスってかなり影響がある！**

ブラジャー着用時間以上着用すると、乳癌のリスクが21倍に増大(米国の研究機関発表)



パラボラアンテナ(笑い)

ブ...

# 美田で乳がん21倍の米研究

●女性の皆  
ぱりワコー  
いろいろだ  
期がある  
スなので

ブラ)

乳癌のリスクが...

機関発表)

細胞の細胞膜をしつかり作ると  
意識外ストレスをガードする！

細胞膜はオメガ脂肪酸3とVEが作る！

但し同じ素材に含まれるオメガ3とVE

以外は効果がない……！

パラハッ

(笑い)

# 意識外ストレス

- 私たち人間が自然界を無しにして作り上げた化学物質や化学野菜、そして麻痺剤（神経毒）。

これらの物を多く摂りながら私たちは生活をしています。

- 脳の判断できない物、脳を狂わせる物、そして麻痺剤よりももっと酷いものが人工甘味料と人工香料です。

これらは自然界にまったく存在しないのに、自然界に存在するものそっくりの匂いや味、特にジュース類は酷いものです。

私たちはそれを平気で飲んでいますが、脳にとってはどうでしょうか？

# 意識外ストレス

- 脳の中の遺伝子には生きてきたすべての記憶が刻まれ、そして私たちは生活しています。

その記憶された情報と今飲んだジュースの情報がまったく噛み合わないんです。

- 観念的には美味しかったジュースも、脳の記憶の中では地球に存在しない物質に過ぎないのです。

そんな物ばかり摂っているわけですから、私たち人間の中、特に脳にダメージを与える情報によって、脳に意識外ストレスが起きているのです。

# 意識外ストレス

- 遺伝子組み換えや一代交配種、種なしブドウよりももっと身近で怖い物がたくさん売られています。  
人工飼料で育てられた魚や肉や卵、しかも無精卵。
- 私たちは日本人です。  
外国から輸入された食品でさえ、私たちの脳や遺伝子、腸内細菌にとってはまったく知らない食べ物なんです。  
また、加工食品の中で本来もつ素材の味がまったく分からなくなっている物もたくさん存在します。

# 意識外ストレス

- ・しかも腐らないように化学物質をたっぷり使われています。
- ・脳や遺伝子の立場になって考えてみてはいかがでしょうか。彼らはきつと悲鳴をあげていることでしょう。

## ・なぜ意識外ストレスは起こるのか？

意識外ストレスとは、字のごとく“**意識していないところで起こるストレス**”のことです。では、どのようなものがこのストレスを起こすものなのか、具体的に考えていきたいと思います。

# 意識外ストレス

## ・まずは『化学物質』

これは環境ホルモンとも呼ばれる有名な物質ですが、その他に最も大きく私たちの体に関わってくるものとして『電磁波』があります。

送電線は日本中に張り巡らされていますし、電車に乗ればそこにも強い電磁波が発生しています。電気自動車やハイブリッド車などもそうです。

# 意識外ストレス

- 家の中では蛍光灯やテレビやレンジなどの家電製品がたくさんあります。日常生活の中に密着しているものがほとんどで、現在もっとも普及している携帯電話もそのひとつです。  
これらの物からはかなり強い多種多様な電波が出ています。
- 私たちの耳はそれを感じることも聞くことも、測定することもできませんが、脳は頭蓋骨というアンテナを使用的確にその音を聞いているんです。
- しかもこれは人間たちが化学の力で作り上げた音なので、脳に記憶されているプログラムに存在しない音なんですね。  
その音を一日中脳は聞いているんですから、たいへんです。  
これが意識外ストレスの代表的な物のひとつなんです。

# 意識外ストレス

- **その他にも『化学野菜』があります。**

種無しブドウや遺伝子組み換えなどの人間が野菜や果物に書き込んだ情報と、脳に記憶されていた情報と大きく食い違ったときに起こる脳のストレス。

**これも大きな意識外ストレスの原因なんです。**

- まだまだたくさんありますが、あげればキリがないぐらいです。化学で作られた耳に聞こえない音と、化学で作られた食品たちに脳は大きくストレスを感じるのです。

# 意識外ストレス

- 脳に記憶されていない物質と出会ったとき、脳は真っ先に怖いと思って拒否してくれればいいんですが、実際はそうではなく、脳は確認作業に入るんです。そして、記憶された情報と適合しない部分を探し出し、その対処方法を模索するんですがいくらやっても結論が出てこない。
- それなのに毎日のようにそれらの物質や情報が口や目や耳や鼻から、そして頭蓋骨から入ってきます。脳はだんだん訳がわからなくなってしまう、常に迷いの中ですから、その結果起こるのが「誤作動」です。その誤作動で訳の分からない病気が増えていることは明らかです。

# 意識外ストレス

- 脳が狂ったから起こることではなく、脳が正常だからこそ起こってしまう病気なんです。  
花粉症やアトピーなどもそうかもしれませんし、自閉症やうつ病もそうかもしれません。  
こういったことを防ぐには、何よりも自然治癒力が思ったように発揮できることが一番大切なのです。
- 脳が大きなストレス(悩み)を抱えている以上、脳からの信号が誤作動を起こして体に変調を来たすのは当たり前のことです。  
早く脳を安心させ、本来の機能を発揮できるようにしてあげなければなりません。

# 意識外ストレス

- 脳からの信号により司られている各臓器たちも、脳からの信号ではなく周辺機器からの音に影響を受けます。
- なかでも一番怖いものが“電磁波”や“低周波”です。脳や臓器が外からの音波により誤作動を起こし始めています。
- 特に電磁波は有名ですが、本当は低周波の方がもっと怖いんです。
- 何故ならば、低周波の持つエネルギーはかなり強く、その振動が脳を狂わせ、脳からの信号すべて狂わせ、体をだめにしていくんです。

# シューマン波を乱す電磁波！

## 電磁的混沌の現代

電子レンジ、冷蔵庫、IH電子調理器、電気照明、テレビ、ステレオ、パソコン、エアコン、洗濯機、乾燥機、電気シェーバー、ドライヤー、電動歯ブラシ、携帯電話、スマホ、タブレット、ゲーム機、無線ラン環境、WIFI環境、無人改札、自動ドア、等々・  
・ 今日われわれの暮らすハイテク環境は電磁的には未曾有の混沌状態にあると言えるであろう。



# シューマン共振周波数

シューマン共振の周波数は、太古から生物が浴びつづけている電磁波であるがゆえ、生物はこの周波数の電磁波と「調和」しているといえます。シューマンの発見した周波数の電磁波を身近におくことで、超低周波の電磁波からの障害から身を守ることができるというのです。とくに「**7.83Hz**」が有効だといえます。

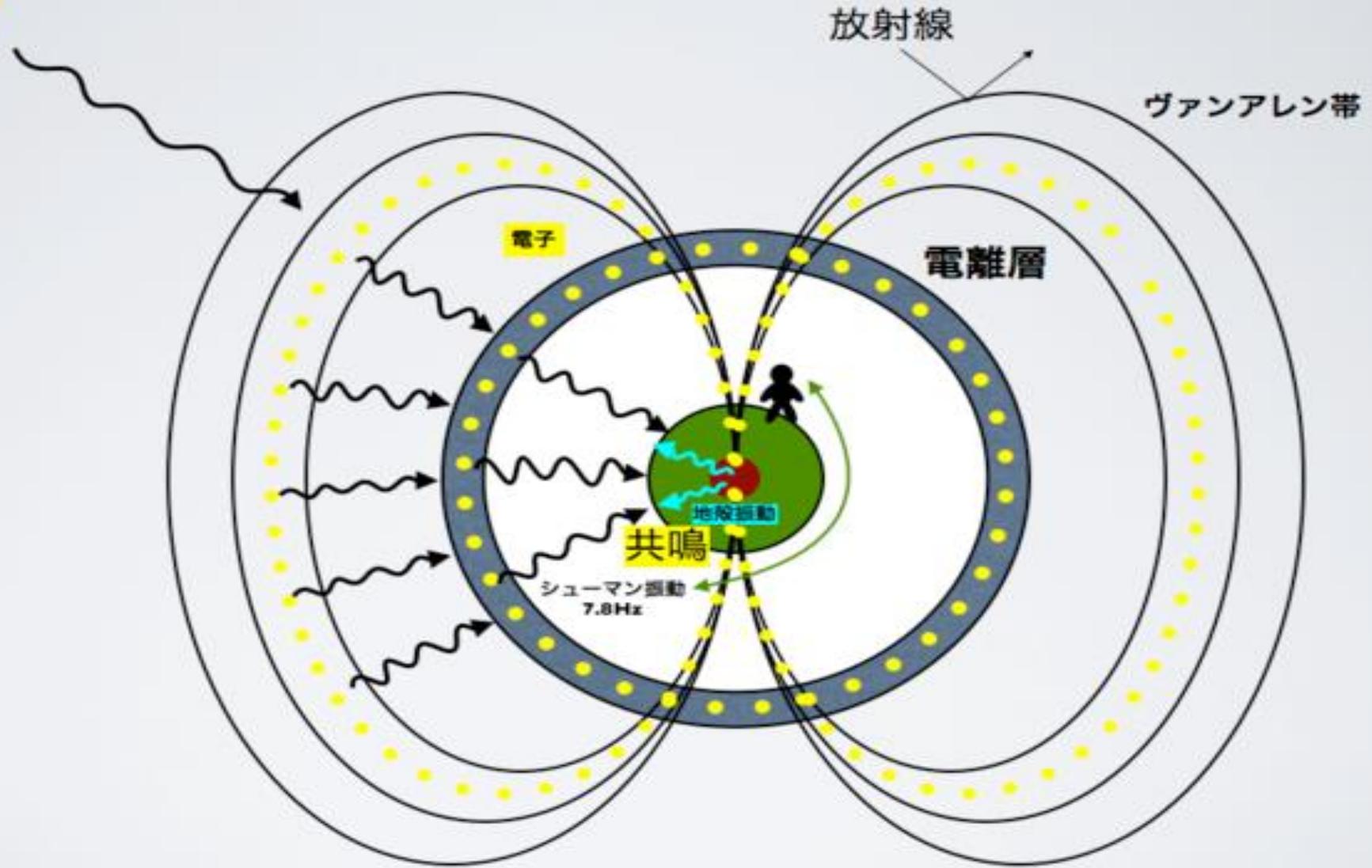
一方、実用面で**7.83Hz**にいろいろな機能が見い出されています。NASAではスペースシャトルの機内になど人を安全に生かす装置として使用、また、さらなる驚きは、お母さんの胎児がいる、お腹の中は「**7.83Hz**」に保たれていて、胎児はそこですくすくと命の水にひたり成長していくということです。

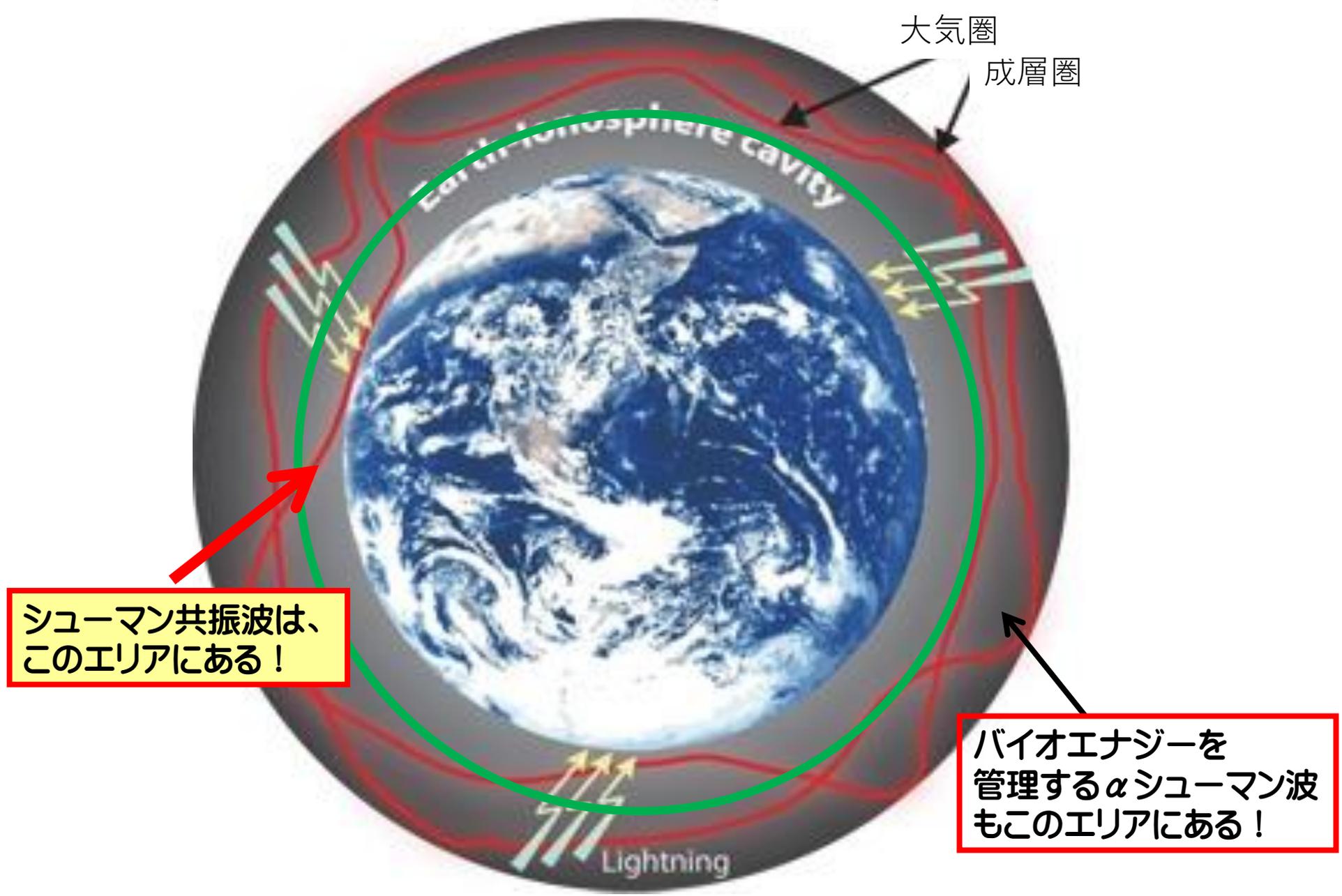




太陽

# 地球のリズム = 生命のリズム





大気圏  
成層圏

シューマン共振波は、  
このエリアにある！

バイオエナジーを  
管理する $\alpha$ シューマン波  
もこのエリアにある！

1秒後

地球（電離層と地面間の球殻状の空洞）の共振周波数は、電磁波の伝搬速度、30万キロメートルを地球周囲の長さ4万キロメートルで割った7.5ヘルツ付近になります。

実際に測定したデータでは、様々な条件から7.8ヘルツを中心としたある一定範囲の周波数で共振が測定されました。

7.83ヘルツは基本周波数で、13.5、19.1、24.7、30.2、35.7、41.3ヘルツの高調波が、定在波として発生します。

比較的高い周波数の定在波は減衰するということがわかっています。

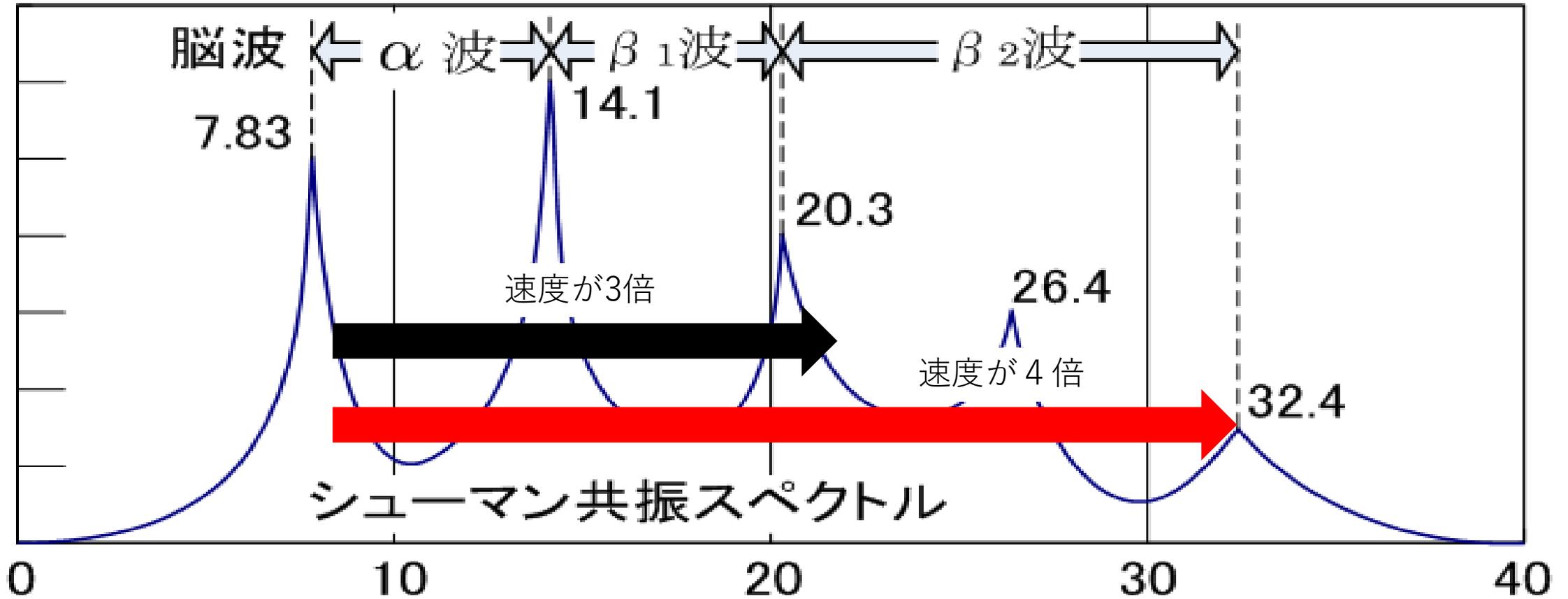
7.8Hzの定在波

電離層と地球の地面の間にある空間の共振周波数は7.8Hz

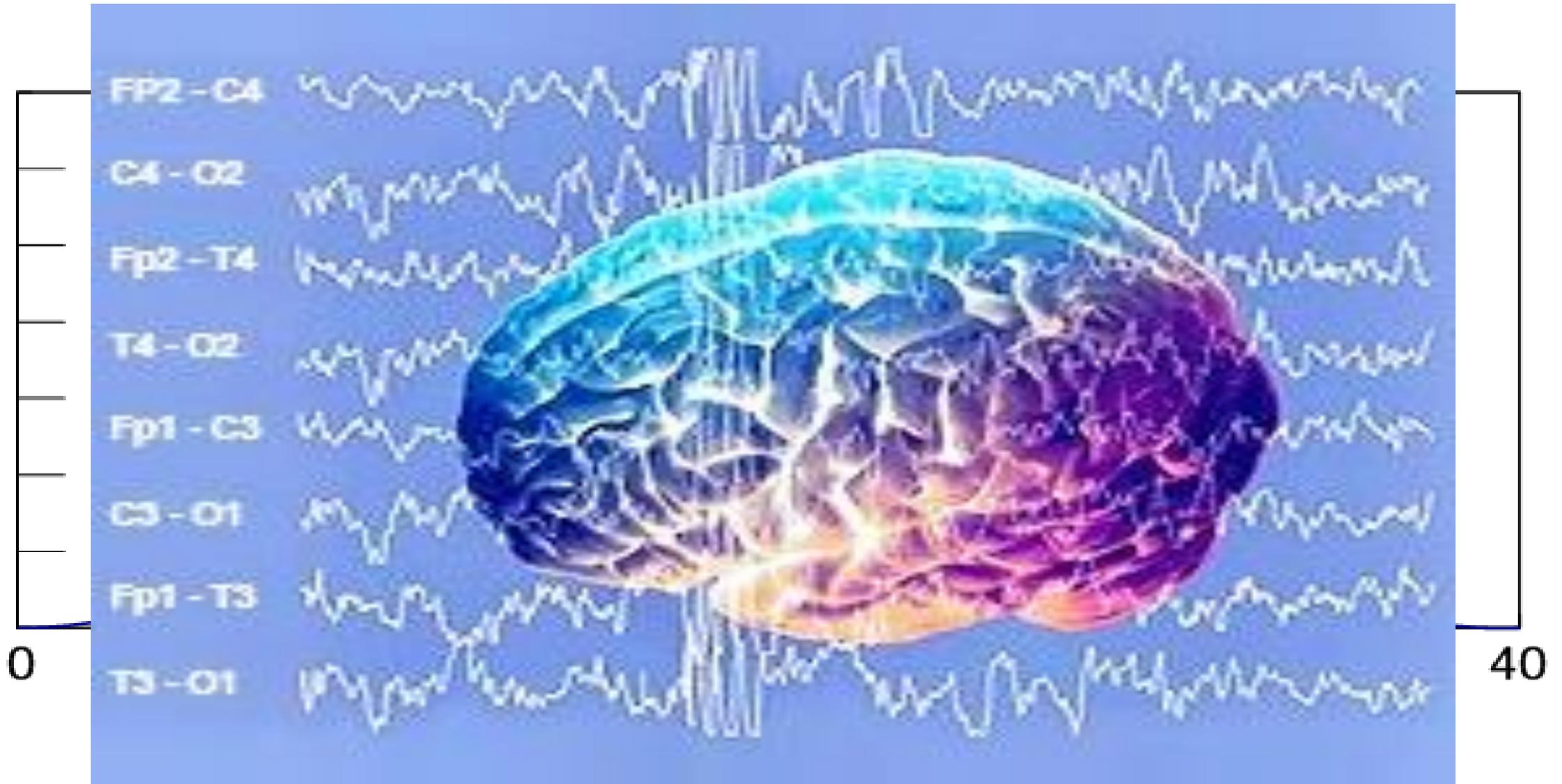
雷放電から数Hzから数百MHzの広い周波数帯の電磁波が発生しますが、共振周波数以外は減衰したり、電離層を突き抜けてしまいます。

波長4万Km = 地球の周長

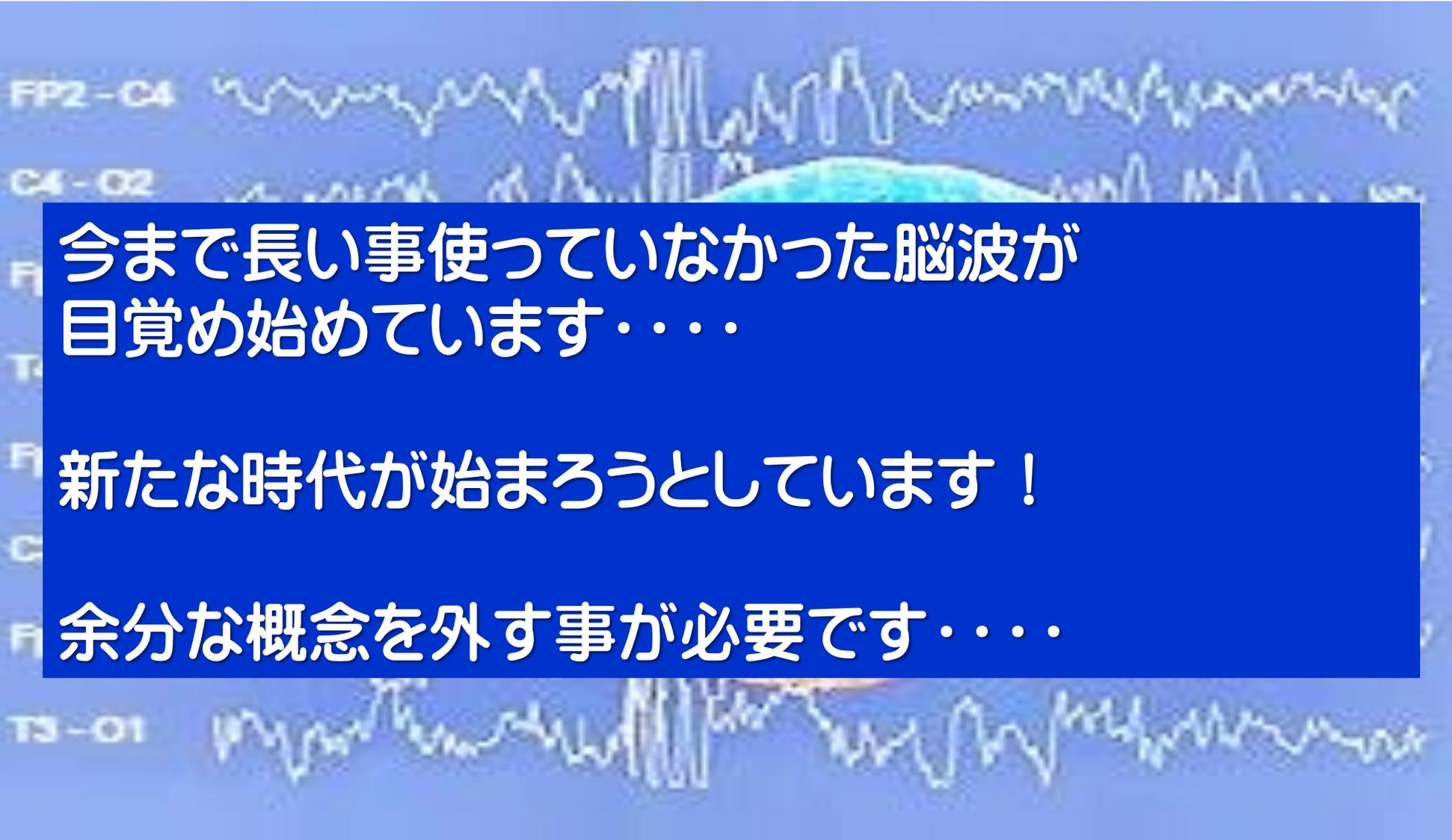
# シューマン波と脳波



# シューマン波と脳波



# シューマン波と脳波



今まで長い事使っていなかった脳波が  
目覚め始めています……

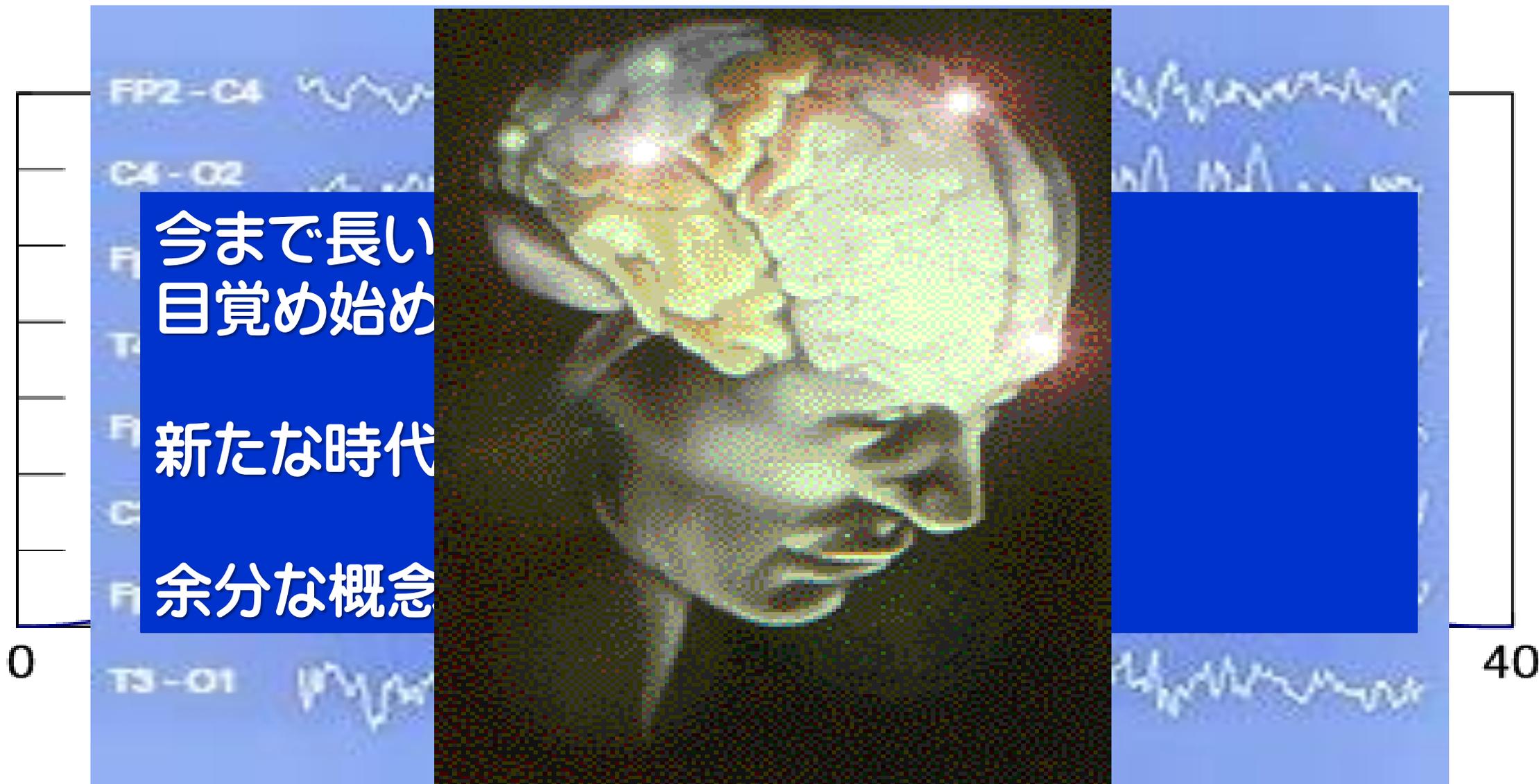
新たな時代が始まろうとしています！

余分な概念を外す事が必要です……

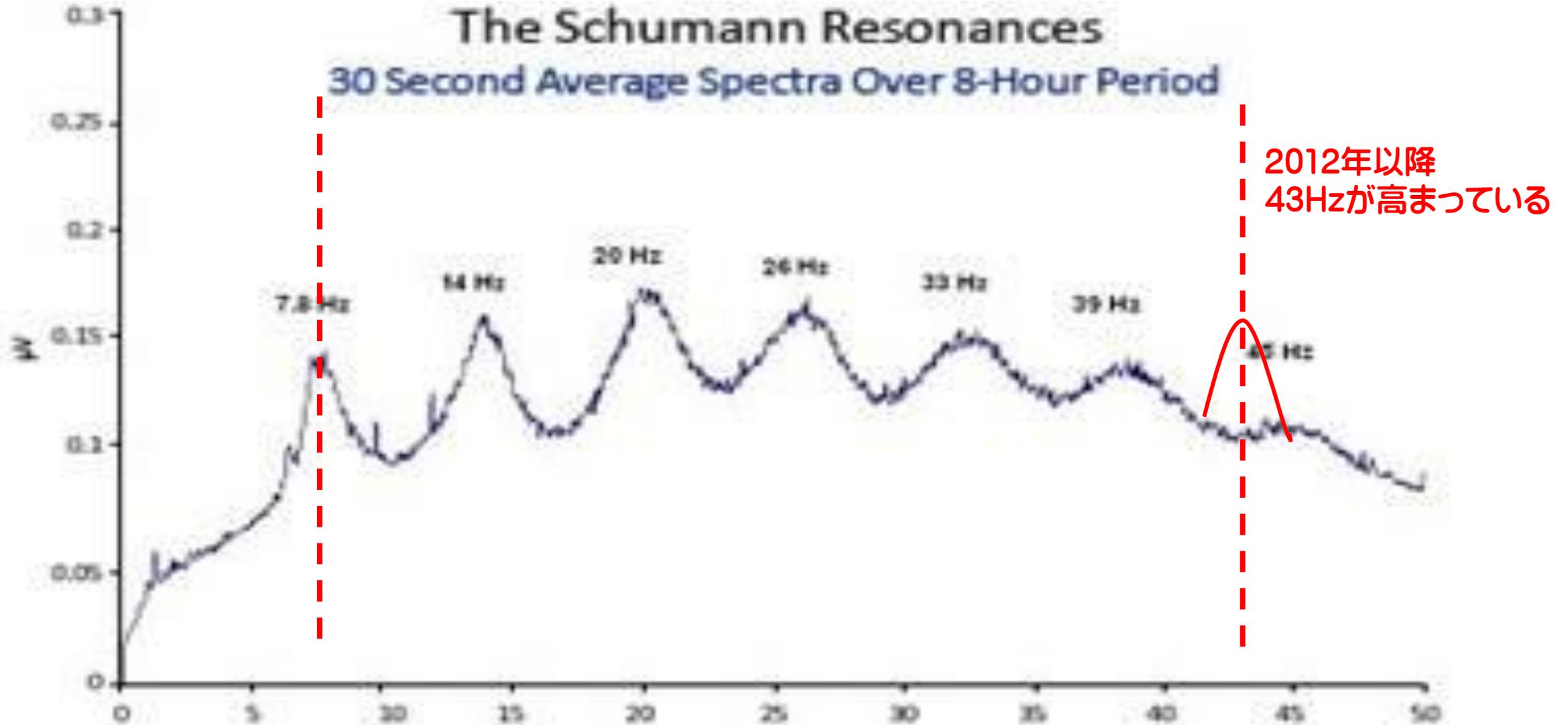
0

40

# シューマン波と脳波



# 意識外ストレス



# 意識外ストレス

## 主な基礎律動と周波数

名称	周波数
デルタ波 $\delta$ (デルタ)	1~3Hz
シータ波 $\theta$ (シータ)	4~7Hz
アルファ波 $\alpha$ (アルファ)	8~13Hz
ベータ波 $\beta$ (ベータ)	14~30Hz



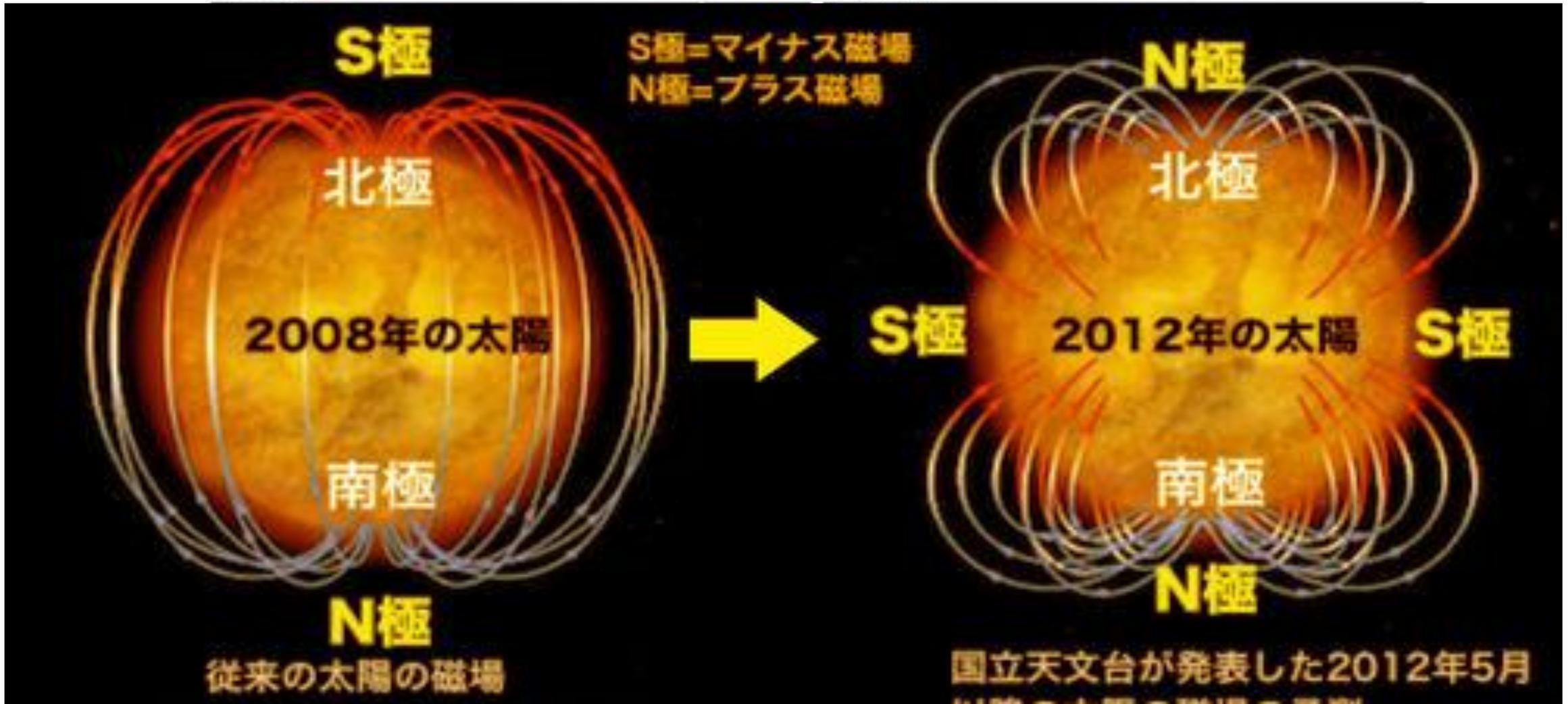
# 太陽の極が増加しました。

振動数(ヴァイブレーション)の上昇に伴って、情報量が倍増しております。

今迄観えなかったモノや、聴こえなかった音が感じられる世界に進化します。

2008年

2012年



# 太陽の極が増加しました。

振動数(ヴァイブレーション)の上昇に伴って、情報量が倍増しております。

今迄観えなかったモノや、聴こえなかった音が感じられる世界に進化します。

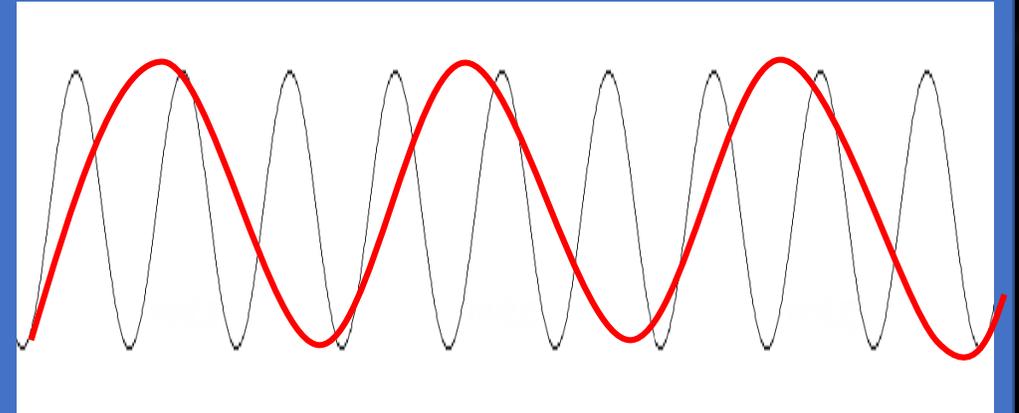
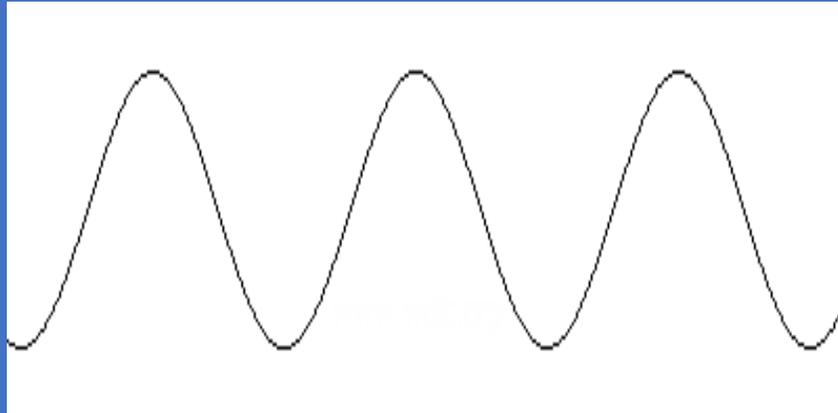
2008年

2012年

S極

S極=マイナス磁場  
N極=プラス磁場

N極



N極

従来の太陽の磁場

N極

国立天文台が発表した2012年5月

# 感情と周波数(振動数)

デルタ波	$\Delta$	0.4~4Hz	ノンレム
シータ波	$\theta$	4~7Hz	レム(イメージ)
アルファ波	$\alpha$	7~14Hz	リラックス
ベータ波	$\beta 1$	14~20Hz	イライラ・くよくよ
ベータ波	$\beta 2$	20Hz~32.5Hz	執着・怒り・悲しみ
ガンマ波	$\gamma$	32.5Hz以上	うらみ・ねたみ・恐怖

地球誕生時の振動数 10Hz  
 生命誕生時の振動数 7.8Hz  
 現在の振動数 13.2Hz~13.8Hz

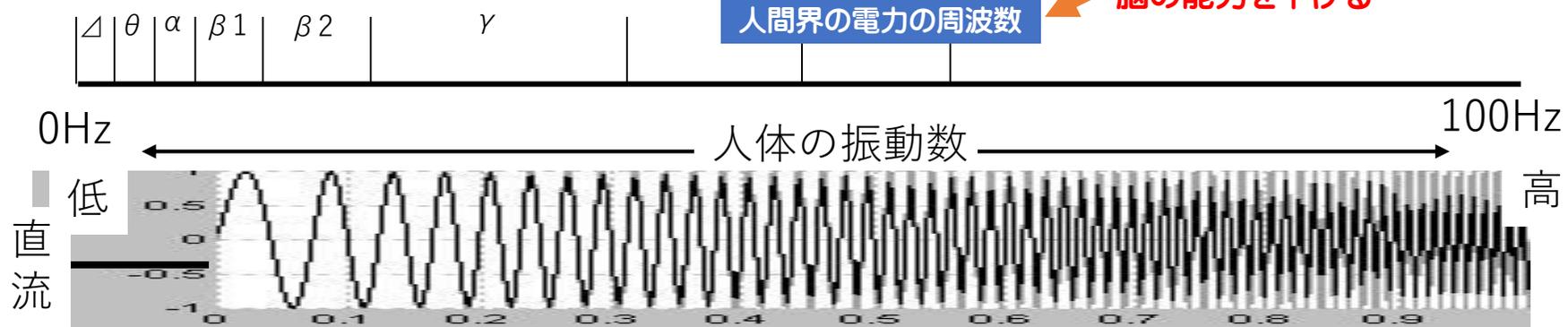
ソマチットの充電周波数

カルシウムイオン大量放出  
 カリウムイオン増加  
 リチウムイオン増加

50Hz 60Hz

人間界の電力の周波数

脳の能力を下げる



# 感情と周波数(振動数)

デルタ波 $\Delta$	0.4~4Hz	ノンレム
シータ波 $\theta$	4~7Hz	レム(イメージ)
アルファ波 $\alpha$	7~14Hz	リラックス
ベータ波 $\beta 1$	14~20Hz	イライラ・くよくよ
ベータ波 $\beta 2$	20Hz~32.5Hz	執着・怒り・悲しみ
ガンマ波 $\gamma$	32.5Hz以上	うらみ・ねたみ・恐怖

地球誕生時の振動数 10Hz  
 生命誕生時の振動数 7.8Hz  
 現在の振動数 13.2Hz~13.8Hz

ソマチットの充電周波数

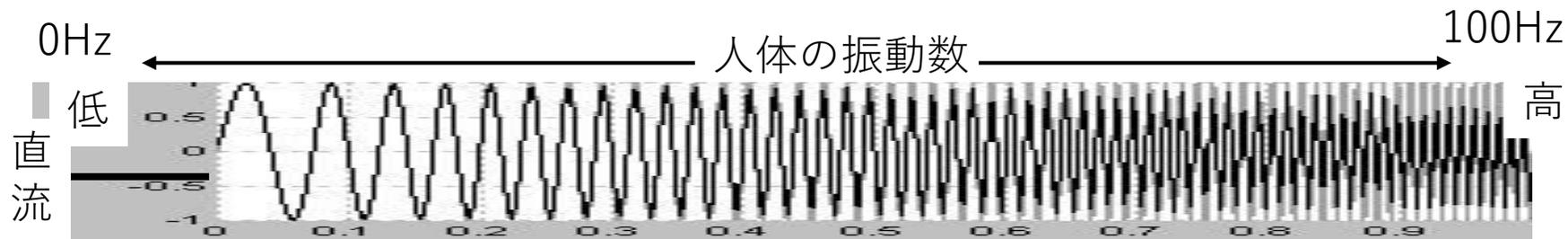
カルシウムイオン大量放出  
 カリウムイオン増加  
 リチウムイオン増加

50Hz 60Hz

人間界の電力の周波数

脳の能力を下げる

**$\alpha$  の上限は、43Hzを超えた！**

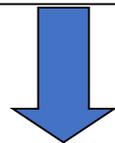


# 感情と周波数(振動数)

デルタ波 $\Delta$	0.4~4Hz	ノンレム
シータ波 $\theta$	4~7Hz	レム(イメージ)
アルファ波 $\alpha$	7~14Hz	リラックス
ベータ波 $\beta 1$	14~20Hz	イライラ・くよくよ
ベータ波 $\beta 2$	20Hz~32.5Hz	執着・怒り・悲しみ
ガンマ波 $\gamma$	32.5Hz以上	うらみ・ねたみ・恐怖

地球誕生時の振動数	10Hz
生命誕生時の振動数	7.8Hz
現在の振動数	13.2Hz~13.8Hz

ソマチットの充電周波数



カルシウムイオン大量放出  
カリウムイオン増加  
リチウムイオン増加

50Hz 60Hz  
人間界の電力の周波数 ← 脳の能力を下げる

**$\alpha$  の上限は、43Hzを超えた!**



# 感情と周波数(振動数)

デルタ波 $\Delta$	0.4~4Hz	ノンレム
シータ波 $\theta$	4~7Hz	レム(イメージ)
アルファ波 $\alpha$	7~14Hz	リラックス
ベータ波 $\beta 1$	14~20Hz	イライラ・くよくよ
ベータ波 $\beta 2$	20Hz~32.5Hz	執着・怒り・悲しみ
ガンマ波 $\gamma$	32.5Hz以上	うらみ・ねたみ・恐怖

地球誕生時の振動数 10Hz  
 生命誕生時の振動数 7.8Hz  
 現在の振動数 13.2Hz~13.8Hz

ソマチットの充電周波数

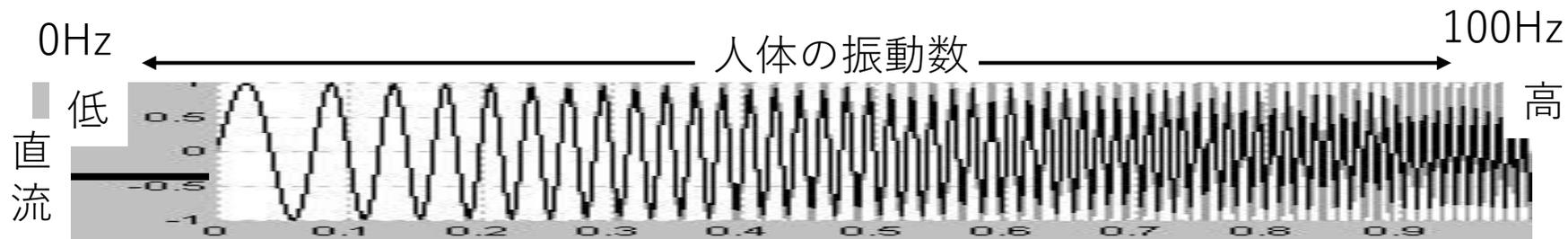
カルシウムイオン大量放出  
 カリウムイオン増加  
 リチウムイオン増加

50Hz 60Hz

人間界の電力の周波数

脳の能力を下げる

**$\alpha$  の上限は、43Hzを超えた!**



# 振動数(振動数)

これらの・感情エナジーが、これからは特に邪魔になります！

地球誕生時の振動数	10Hz
生命誕生時の振動数	7.8Hz
現在の振動数	13.2Hz~13.8Hz

アルファ波 $\alpha$	7~14Hz
ベータ波 $\beta 1$	14~20Hz
ベータ波 $\beta 2$	20Hz~32.5Hz
ガンマ波 $\gamma$	32.5Hz以上

ノンレム  
レム(イメージ)

リラックス

イライラ・くよくよ  
執着・怒り・悲しみ  
うらみ・ねたみ・恐怖

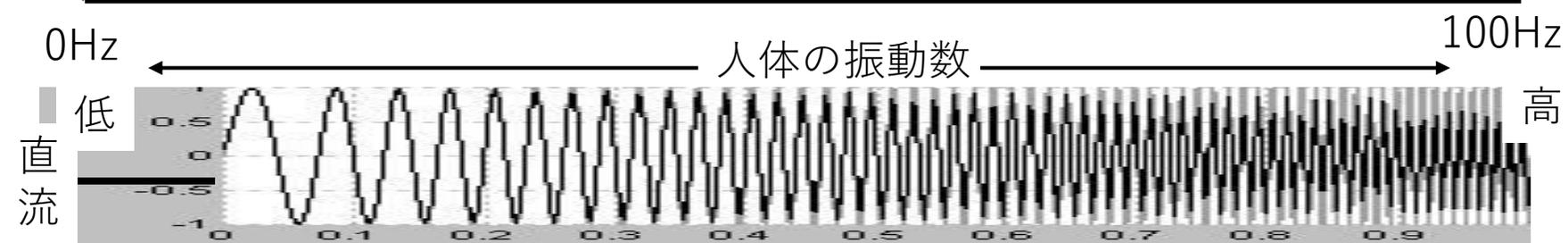
ソマチットの充電周波数

カルシウムイオン大量放出  
カリウムイオン増加  
リチウムイオン増加

50Hz 60Hz

人間界の電力の周波数 脳の能力を下げる

**$\alpha$  の上限は、43Hzを超えた！**



# 振動数(振動数)

これらの・感情エナ  
ジーが、これからは  
特に邪魔になります！

だから・今！  
掘り下げが必要に  
なります！

地球誕生時の振動数  
10Hz  
7.8Hz  
1Hz~12.8Hz

アルファ波  $\alpha$  7.8Hz

ベータ波  $\beta 1$

ベータ波

ガンマ

カルシウムイオン大量放出  
カリウムイオン増加  
リチウムイオン増加

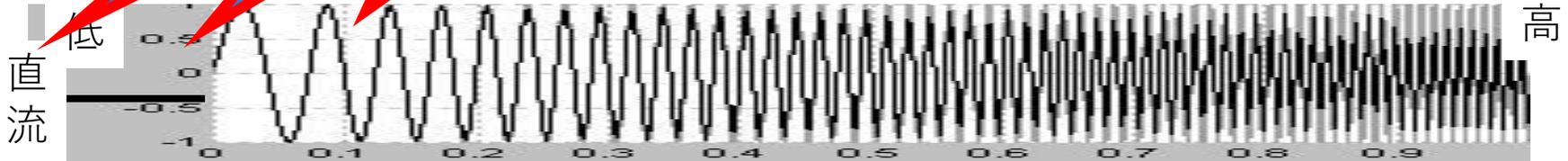
$\alpha$ の上昇

自然界の電力の周波数

脳の能力を下げる

人体の振動数

100Hz



# 意識外ストレス

## ・現実逃避・脳が暴走を始める

- ・今起こっている社会現象の中に、脳にとって好ましくない現実が起ころうとしています。前にも述べたように、食べ物や環境が脳に重大なダメージを与えていることに加え、脳の社会逃避がうつ病を引き起こすだけならまだいいのですが、もっと危険な方向へと導かれようとしています。それは脳が自由への暴走を始めることなんです。
- ・どう言うことかと言いますと、脳が勝手に判断して脳自身の防衛に入ることなんです。そこにはもう、現実が存在しないバーチャルの世界が大きく繰り広げられていくのです。簡単に言うと、麻薬やシンナー遊びをしているようなものですが、厄介なことに、その麻薬やシンナーにあたる物質が“情報”という形のない大変厄介なものなのです。

# 意識外ストレス

- 脳にとって都合の良い情報が、脳をリラックスさせたり喜ばせたりすることによって、現実から離れてしまい時間が存在しなくなってしまう。
- そこは、まさに自由空間であり、在るのは脳にとって都合のいい情報ばかり。しかも勝手に脳が作り上げた自由なので、肉体はそれについていけなくなり、いつかは破壊へ方向へと導かれます。

# 意識外ストレス

- 人間は人間同士のコミュニケーションをすることによって、この社会を作り上げていますが、コンピュータ化された社会では、誰に会わなくてもコンピュータ画面上で会話ができるようになってきました。

子供たちに携帯電話を持たせた途端、携帯電話依存症のごとく毎日何時間でも触っています。

最初は面白半分でも、そのうちに現実を見失ってしまい、脳の暴走が始まってしまいます。

- 小さな悩み事でも考えすぎていくと大きな悩み事になってしまうかのように。
- **そして現実を見失っていくのです。**

# 意識外ストレス

- 脳が自由へと暴走を始めてしまったら、もうどうしようもありません。いくら現実へ引き戻そうとしても、それはあまりにも難しく、不可能なことです。
- 習慣となってしまったものは体に根強く残り、これほど恐ろしい世界はありません。
- 過剰の煙草やお酒もそうですね。また、生活の中にある習慣も、度が過ぎればそれは中毒です。
- そんなことが引き金になって、それが叶わなかった時のストレス解消法が、**“脳の暴走”**なんです。

# 意識外ストレス

- とても身近なところにあつて、もっとも危険なことに早く気づき、自然への調和の世界に導いてあげなければ、確実に脳が肉体から離れていってしまいます。
- 脳はすべて情報により作用します。  
化学で作られた現実情報、テレビやインターネットもその一つです。
- ラジオもそう、電話もそう、目の前で起こっていない現象なのに、目の前で見れること、聞けることは現実ではないのです。

# 意識外ストレス

- 脳はたくさんのバーチャルの中で存在しているのです。
- 現実と非現実の区別がつかなくなってしまった今、脳の暴走が引き起こす現象は誰にも止められません。
- そうした人間が増え続けたなら、秩序は乱れ、社会が崩壊してしまいます。
- 何故ならそうなった人間は管理できないからです。

# 意識外ストレス

- 人間の化学は自然を情報破壊する
- ある種の人々の集団は、夢と欲と希望を履き違えて、どんどん間違った方向へと進んでしまいました。  
特に農業と生命科学、そしてバイオの世界。
- そこに輪をかけてひどいのが音とエネルギー。  
人々は自分たちの心の欲を満たすために化学を進め、物を作り、自然から遠ざかってしまいました。
- 有物論者たちは見えない世界を否定し、それに気づく心を無視し時は流れてきたのです。

# 意識外ストレス

- それなのに自然災害を怖がったり、天変地異を恐怖に思い、そこから逃れるように間違った未来を築こうとしています。
- 300万～200万年前にかけて1000mを超えるような山が、この日本でもたくさん隆起によって作られ、地球は大きく形を変えていきました。
- その当時、もし私たちが住んでいたとしたならば、その恐怖は計り知れないものだったでしょう。  
でも命たちは生き続けてきました。
- なぜならそれは、地球における自然な出来ことに過ぎなかったからです。

# 意識外ストレス

- 私たち人間がこの自然の中で犯した罪は、こんなことは比喩にならないほど、この地球に住む生命体に大きなダメージを与えました。  
それは、この地球から姿を消す、滅亡へと導くほどの出来事なのです。
- 人間たちは自分の犯した罪により、この地球で暮らす権利を失いかけているということです。
- 自然を破壊するだけならこの地球はいつでも修復することができますが、修復不可能なことを人間達は行ってきました。

# 意識外ストレス

- それは、ミクロの世界における命の操作と、情報の操作。  
もっと怖いのが元素(物質)の組み合わせとエネルギー化です。
- つまり毒を作り、制御不可能なエネルギーを作り出してしまったことです。
- そのダメージは真っ先に他の生命体を恐怖に陥れました。  
そして食物連鎖によりそれを食べた私たちは、今後どのような方向へと進むのか、  
想像はつくはずで

# 意識外ストレス

- 作ることと壊すことは得意な人間たちは、戻すことを知りません。  
必ずこのストレスが大きな力を持って、私たち自身に迫ってくるでしょう。
- まだ手遅れではないのです。必ず道はあります。  
それに気づくかどうかは分かりませんが、気づくことが出来なかったならば、未来はそこに存在することでしょう。  
提案はしているのですから。
- 原子・元素・物質・生命におけるストレスが、自然界情報を操作し始めます。  
狂った情報に満たされる前に、早く手を打つことです。

# 意識外ストレス

## ・人間が作った光と音

- ・自然界の中では、様々な光と音がすれ違ったり交差し、生命体はそれをうまく利用してこの地球で生きています。  
それは何億年もの歳月をかけて築き上げてきた地球に住む生命体の根源にあたるものなのです。
- ・植物の光合成は言うまでもありません。  
光に含まれる熱、音、振動は毛細管現象を促します。  
動物たちも風の音や昼と夜、かすかに聞こえる大地の音、自然音・自然光などをうまく利用してこの地で生き続けています。

# 意識外ストレス

- 私たち人間も目や耳で、入ってくる情報を色々判断しています。
- すべての光は目の中の水晶体を突き抜け脳に伝わり、しかも保存までされています。
- 音も耳の鼓膜を振動させ、脳の中まで入り込んできます。  
当たり前現象に過ぎませんが、今の地球にとって、そして地球に生きる生命体にとって、一つだけ大きな問題が発生してきました。
- それは、人間がむやみやたらに自然界に存在しない光と音を作り上げてしまったことです。

# 意識外ストレス

- 夜になっても明るく照らすライト。  
スピーカーから流れる音。  
これらは頭蓋骨や脳みそを限界を超えた状態まで振動させ、目は強い光に耐え切れなくなっています。
- しかもそれらすべてが脳に直接関係しているところが大きな問題なのです。
- 私たちや他の生命体は、体の中で光や音をうまく利用し生命維持活動をしているわけですから、自然外の光と音は大きな誤作動をもたらしてしまいます。

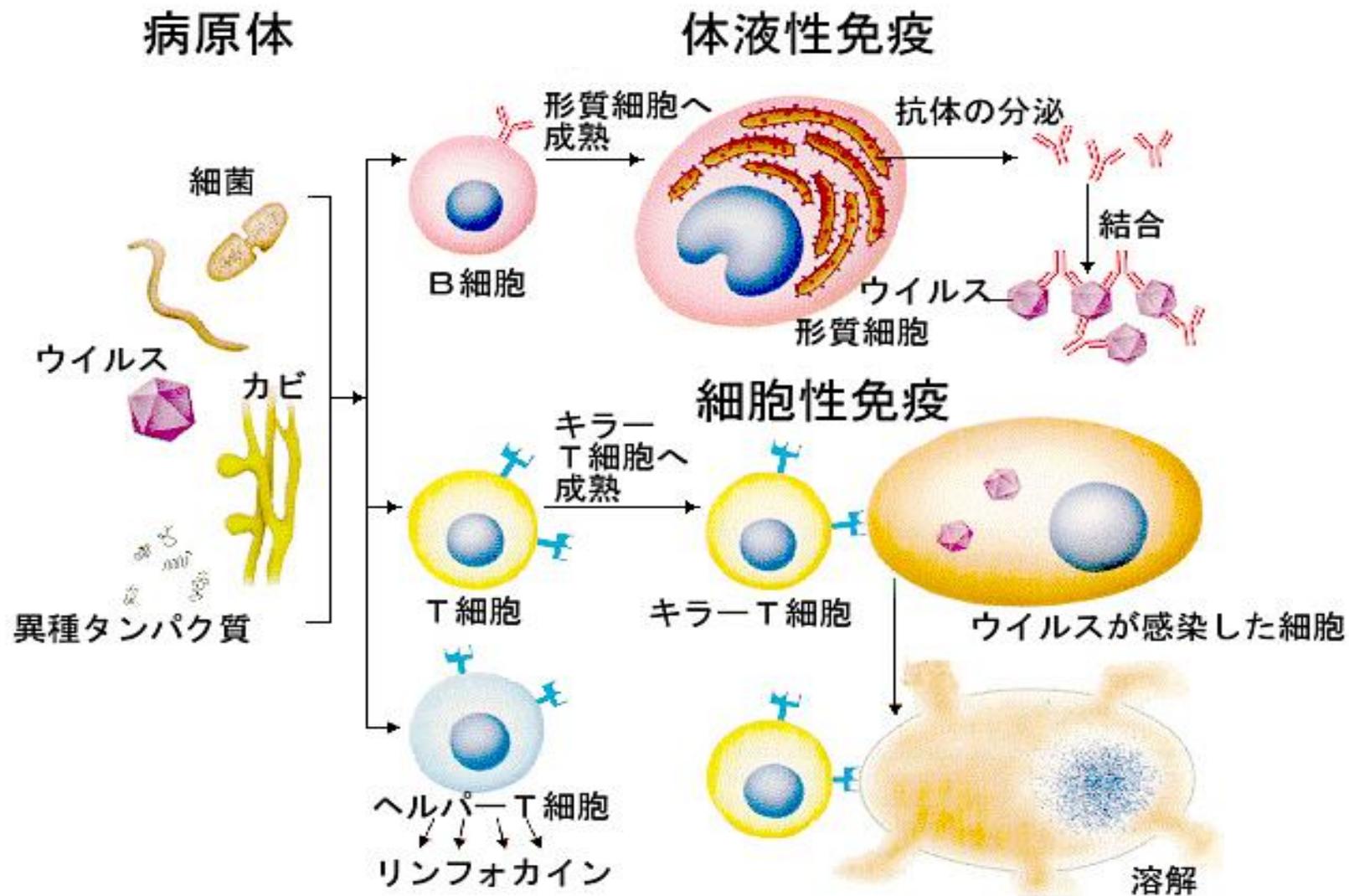
# 意識外ストレス

- 特にひどいのがヘッドフォンです。  
両耳に当てたスピーカーから流れる音は、脳の中で振動し、脳から発生する体への信号を遮ったり邪魔したりします。  
そのとき脳の誤作動が起こる可能性が非常に大きいのです。
- また目を突き抜けた光は脳内に達し、極めて危険な状態で脳を刺激するでしょう。
- 特に大型画面のテレビはその影響が大きいと言われています。

# 意識外ストレス

- あくまで機械的に作られた光や音に過ぎないのですが、自然界に無いものであることが問題なのです。  
そして悪いことに、昼夜問わず光り続け、鳴り続けることが、私たち以外のすべての生命体にも大変大きな影響を与えることは間違いないでしょう。
- 今ストレスが大きな問題となっておりますが、意識が好む光と音と、本能が好む光と音とは全く違う存在なのです。なぜならば人間が作った光と音は、私たちの遺伝子や他の生命体の遺伝子にはその情報は書き込まれていないからです。
- 経験の無い世界が本能にとって一番の恐怖なのです。

# 意識外ストレス



# 「私・ワタシ」とは？

## II

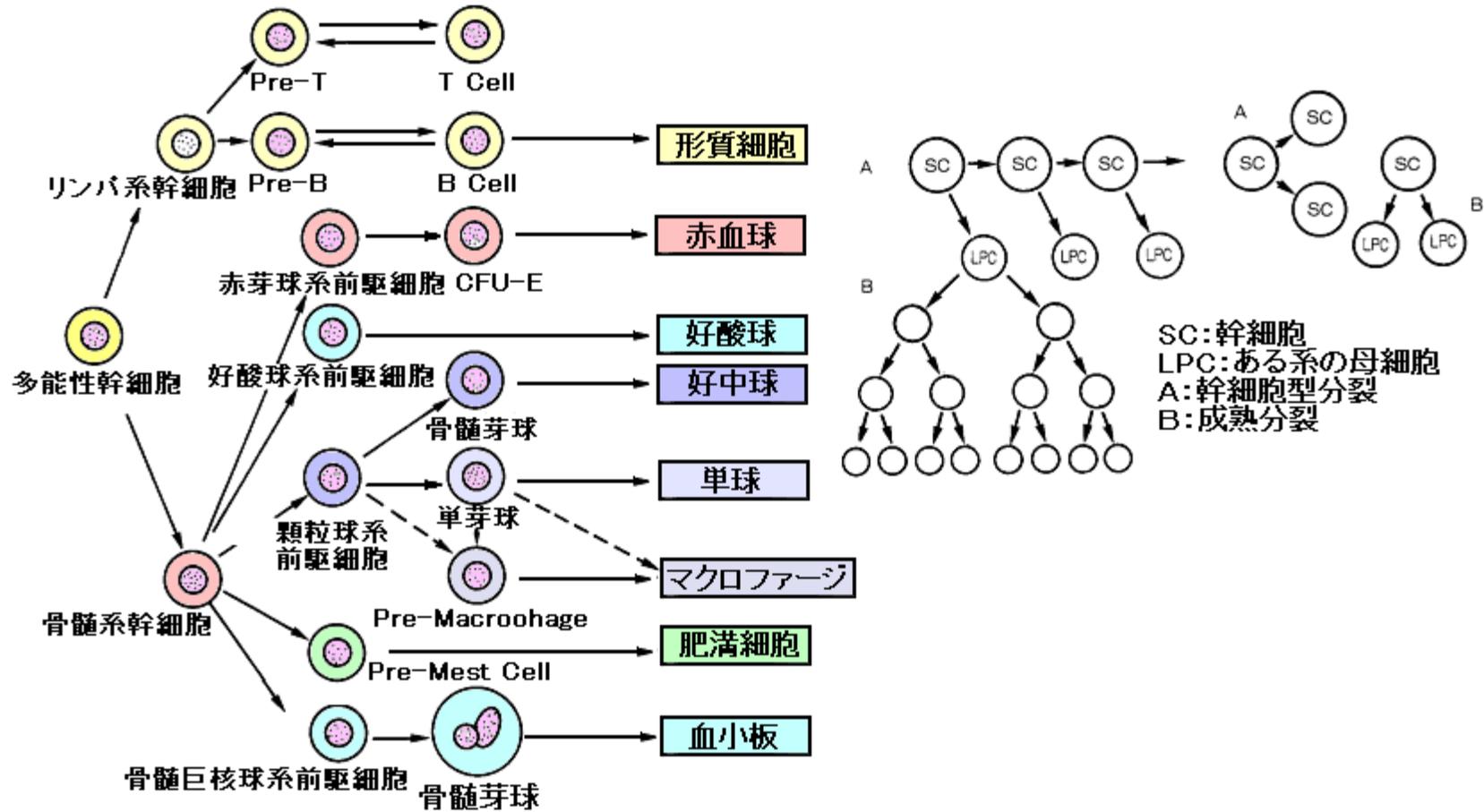
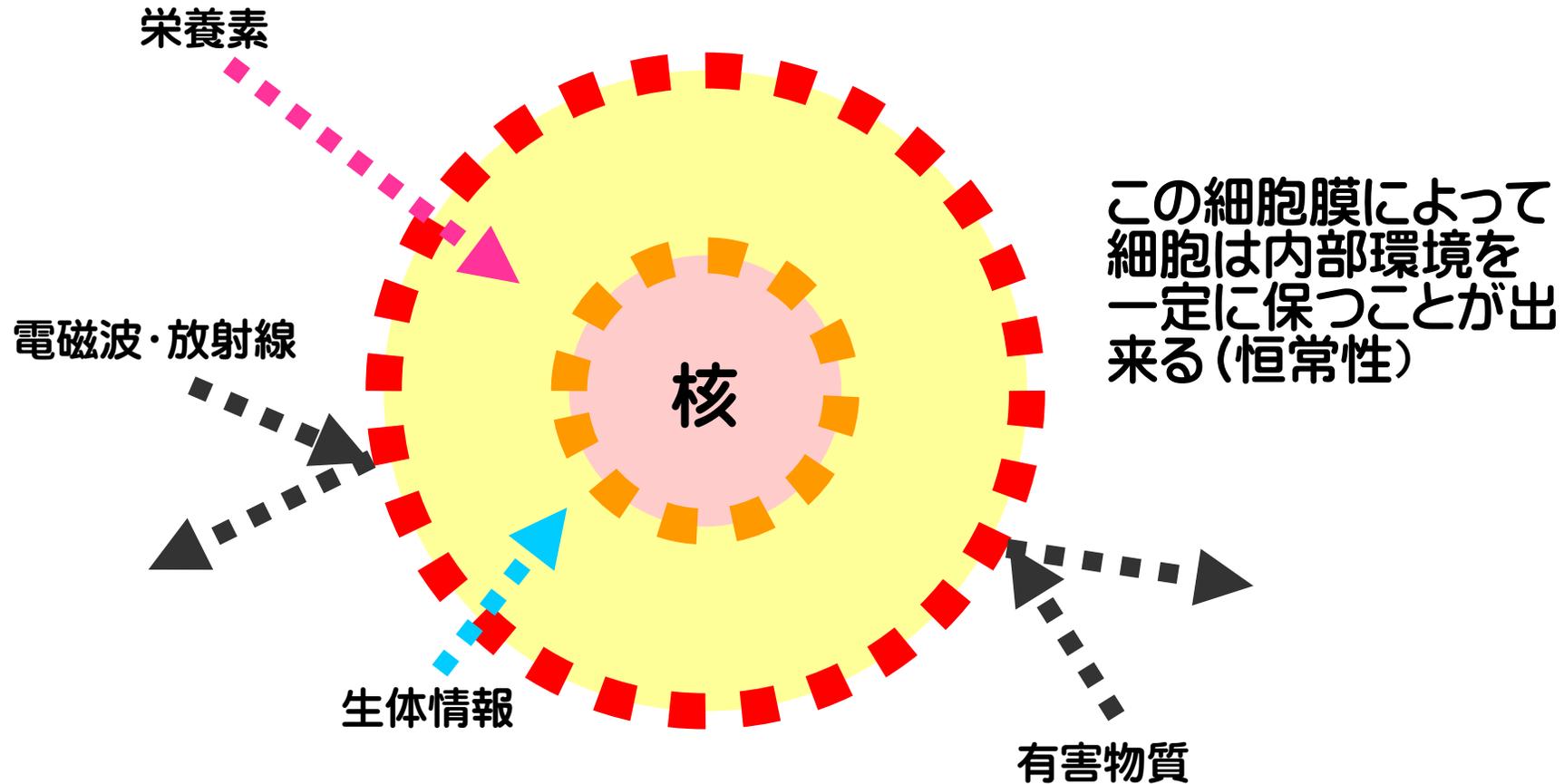


図1 造血幹細胞の増殖、分化の模式図

[出典] 関 正利、平嶋邦猛、小林好作(編): 実験動物の血液学、ソフトサイエンス社(1981)

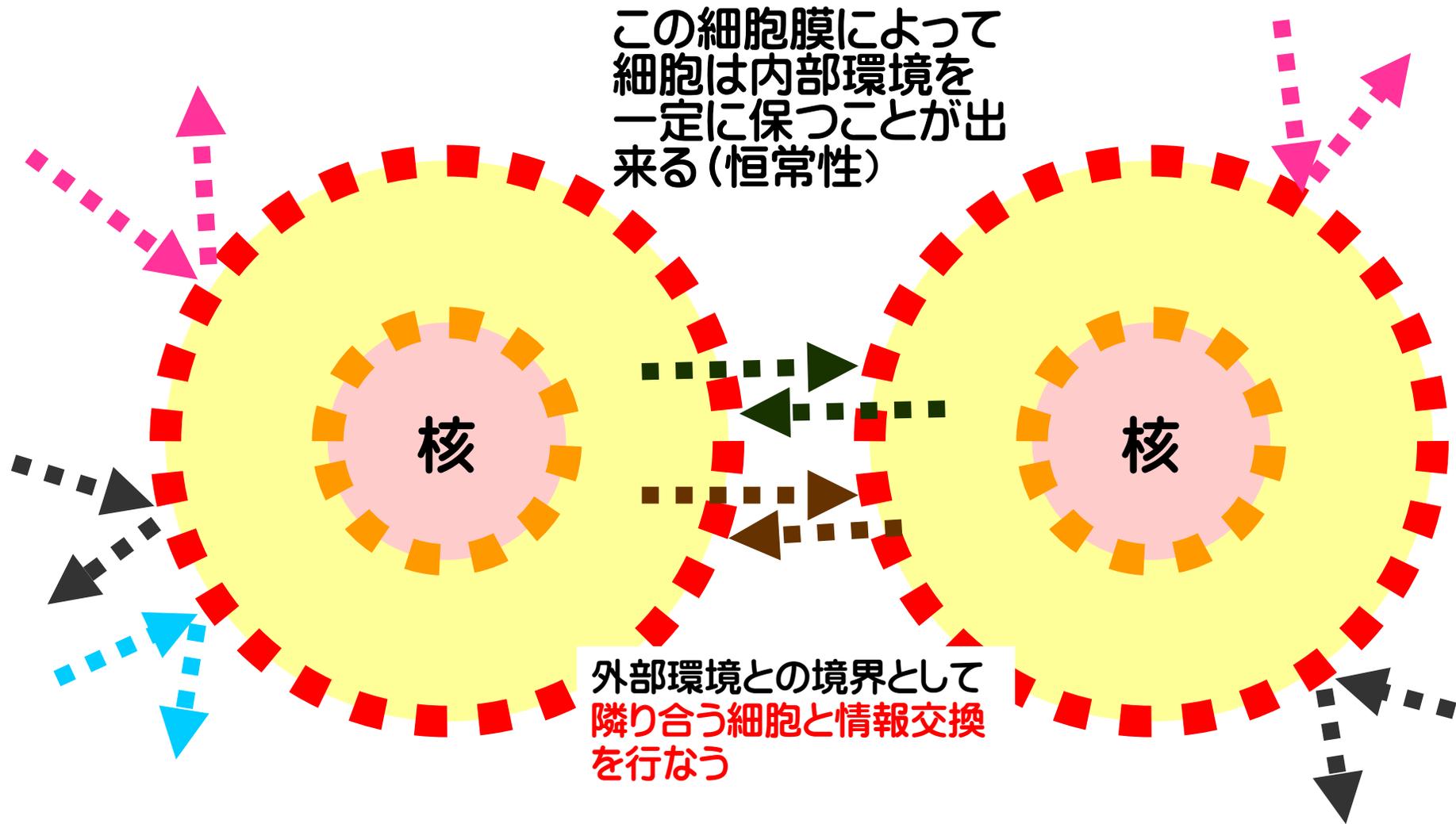
# 生体膜(細胞膜)

刺激、物質の取捨選択を瞬時に行なう選択的透過バリア



# 生体膜(細胞膜)

刺激、物質の取捨選択を瞬時に行なう選択的透過バリア



# 生体膜 = 細胞の頭脳

||

## リン酸脂質

オメガ3系 不足  
オメガ6系 過剰  
オメガ9系 過剰

体内生産

||

電磁波・放射線

私

||

## 75兆細胞

細胞膜劣化

鈍感  
現実を感じれない

有害物質

不安・依存



# むかしと今の食事の違い！

## むかし・・・

- ・根菜類の水煮(椎茸・きのこ)
- ・豆腐・納豆・煮豆・漬物
- ・海苔・海藻類
- ・自然塩・醤油・みそ・ごま
- ・古々米(もち米を使わない)
- ・豆乳・生野菜を食べない

## 現在・・・

- ・ケーキ(砂糖類)
- ・スコーン、饅頭
- ・きな粉・キャラメル
- ・インスタントラーメン
- ・大豆ミートの唐揚げ
- ・スポーツドリンク
- ・サプリメント・薬品
- ・肉や生野菜

**砂糖、小麦粉、マーガリンが中心  
(細胞劣化最強トリオ)**

# 今の日本で手軽に入る食品は！？

砂糖、小麦粉、マーガリンが中心

## 洗脳食

生体膜劣化  
感度、頭脳  
ガタ落ち

+

情報(教義)  
↓  
恐怖感

催眠、コントロールが簡単！

# マルンガイは細胞膜を元気にします！

●含有される脂肪酸中のオメガ3が亜麻仁油やエゴマ油よりも豊富で、且つ調理熱にも壊れない。

V.Eとオメガ3の相乗効果で生体膜の優れた放射線保護特性をもたらす。

- 速やかな廃毒作用、不要な酸化油脂の分解
- 植物世界最高の活きた栄養素群 + ソマチット

||

細胞のクリアリング

||

**ワタシ**を体感できるベース →



# ガンの正体！

Q.ケトン体とは何ですか。

ケトン体とは、脂肪酸やアミノ酸が体の中で代謝されることで作られる物質です。過度なダイエットや絶食、飢餓状態のときに脂肪酸の代謝が進み、ケトン体は増えていきます。

通常は、体の中では脂肪酸やアミノ酸は、水、二酸化炭素、に分解され、その過程で生命活動に必要なエネルギーが得られます。

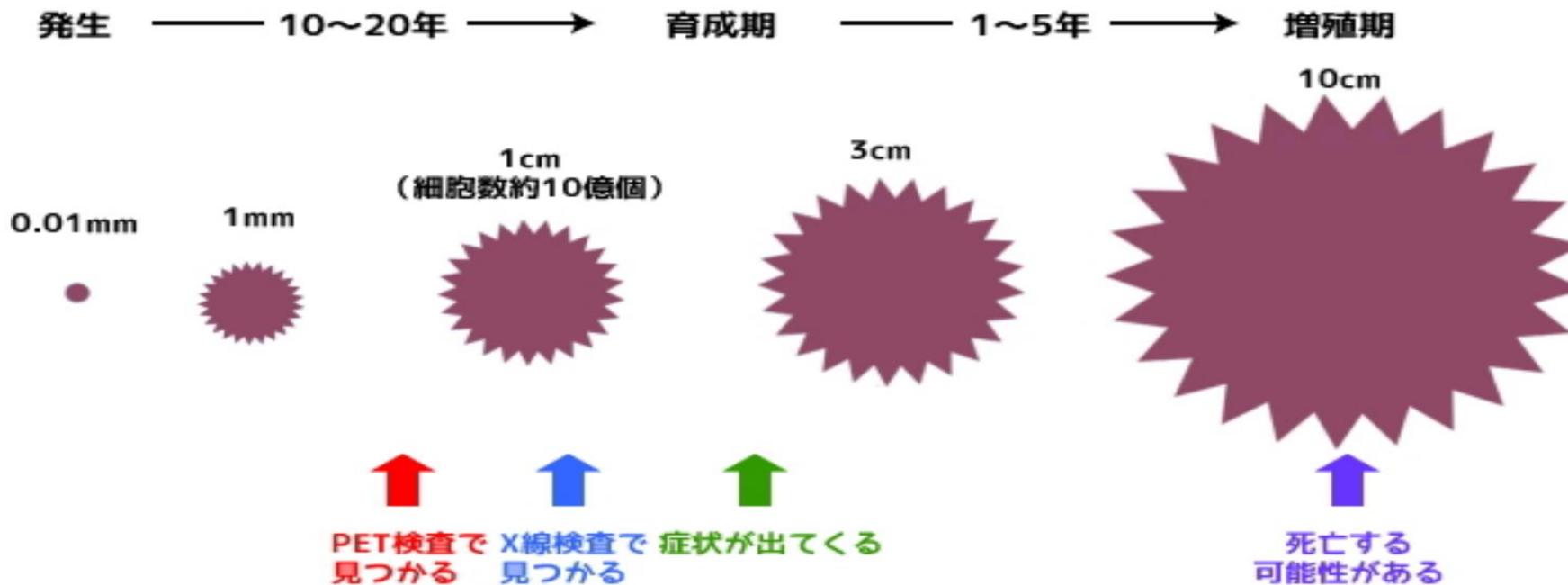
この分解の途中で出てくる『アセチルCoA』という物質がたくさんあったり、分解の過程が正常に進まなかったりすると、分解経路が異なってきます。この違う分解経路によってケトン体ができます。ケトン体も、体の中のさまざまな臓器でエネルギー源として利用されます。

# ガンの正体！

## 特 性

- ・ガン＝細胞内に集められたゴミ袋
  - ・誰でも毎日5000個も生まれ、何百万～何億個は存在しているのが普通
  - ・ガン細胞の性格、その振る舞いは1000通り以上・
  - ・基本的にのんびりしている
  - ・何かを我慢してる時に特に増加する傾向
  - ・生まれたばかりの赤ちゃんにも存在するここから分かることは、ガンは悪性細胞ではなく、むしろ人体にとって有益な細胞ではないか？ということです。
- おそらく、ガン細胞が存在しなければ人はもっと早く死ぬはずです。

# ガンの成長



ガン細胞 1 cm ・ 1 g ・ 細胞数10億個

ガンの潜伏期間は約9~12年です。

この間 (1Cm) までに処理できれば、基本的に発症しません。

# まずは、ガンに対する洗脳を取り除く

## ガンは悪性細胞ではなく必要細胞

「ガンは悪性細胞だ！」と言って、ひたすら叩いて焼いて殺してきた結果が今ですから、日本のガン治療が本質的に間違いであったことは、わざわざ説明するまでもないでしょう。

手術、放射線、抗がん剤など **「ガンを殺そう！」**と考える時点で、がんは100%治りません！

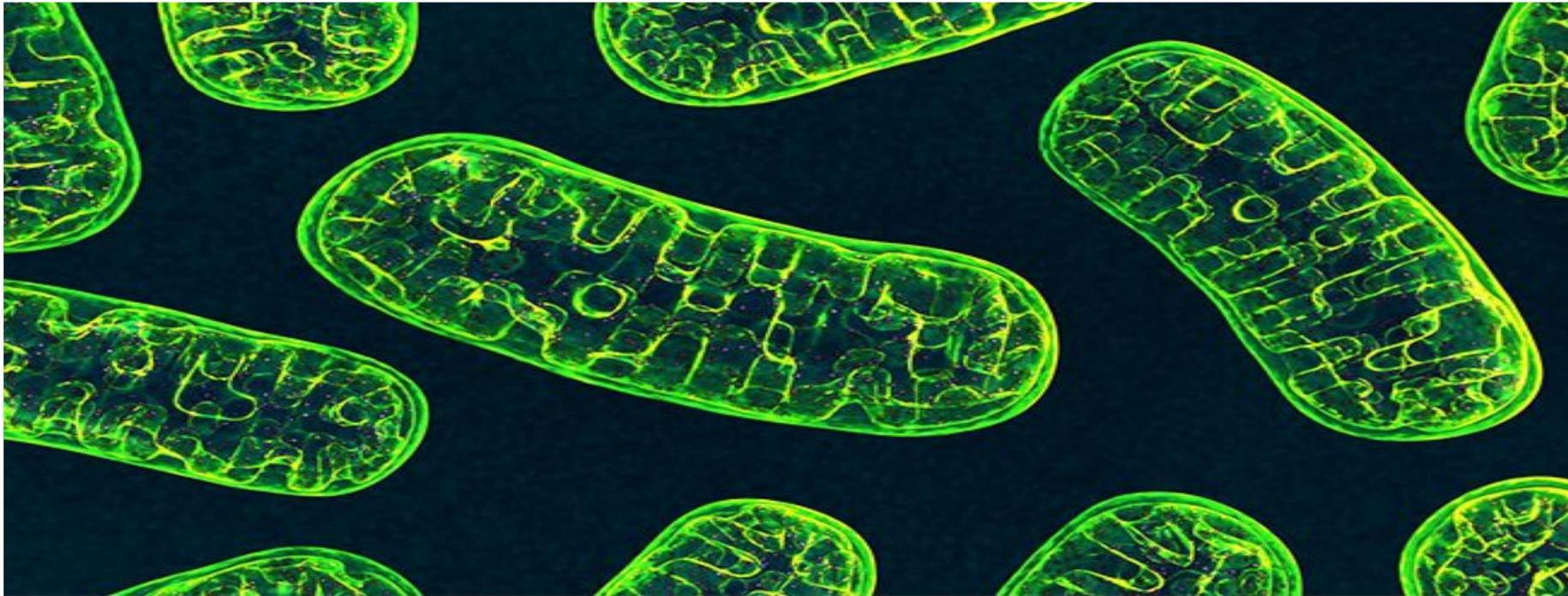
## 基本的に、ガンは増殖しないし、転移もない

「がんは放っておくとみるみる大きくなって全身に転移して、ひどい痛みに苦しみながら、死に至る」というイメージが日本人の頭の中には出来あがっています。

このため、医者から「癌です」と宣告されると「転移する前に早く切らないと」とあせり、「命が延びるなら、手術も抗ガン剤治療も何でもやります」と治療へ駆り立てられ、自分の命を洗脳されてる医者に預けてしまうのです。

ガンは、**余計なことをしなければ** 増殖もしないし転移もありません！

## 低体温と代謝不全によってガンが発生する



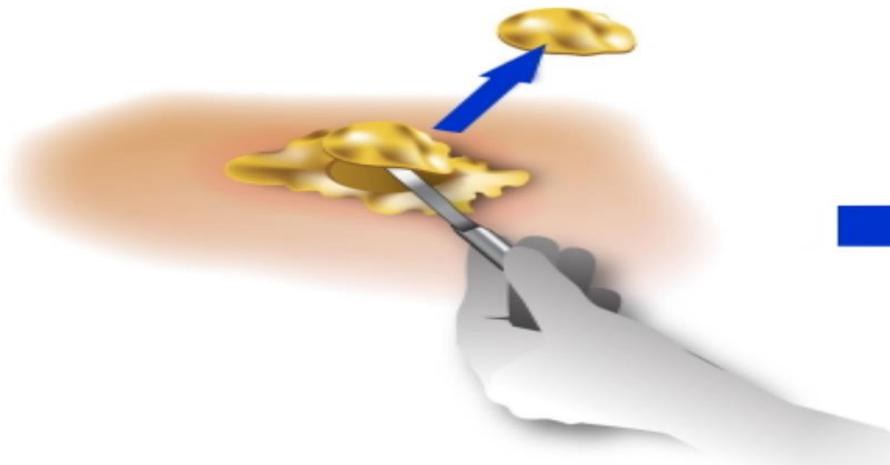
ガンは、予防にしても治療にしても、ポイントになるのは「ミトコンドリア」

- ミトコンドリアは、笑うと元気になります。
- ソマチットが、ミトコンドリアを活発にします。

## ガンという細胞の塊は「ゴミ袋」をイメージするとよい

ガンは、まさにゴミ袋であり、中には何億個ものガン細胞がみっしりと詰まっています。なので、そこに対して刃物でかじったり切ったりすれば、それだけでも中身の何億個ものガン細胞は飛び散ってしまい転移します。

つまり、**最初にガンが転移するのは、生検(バイオプシー)が原因**となっている可能性がかなり高いといえます。



“

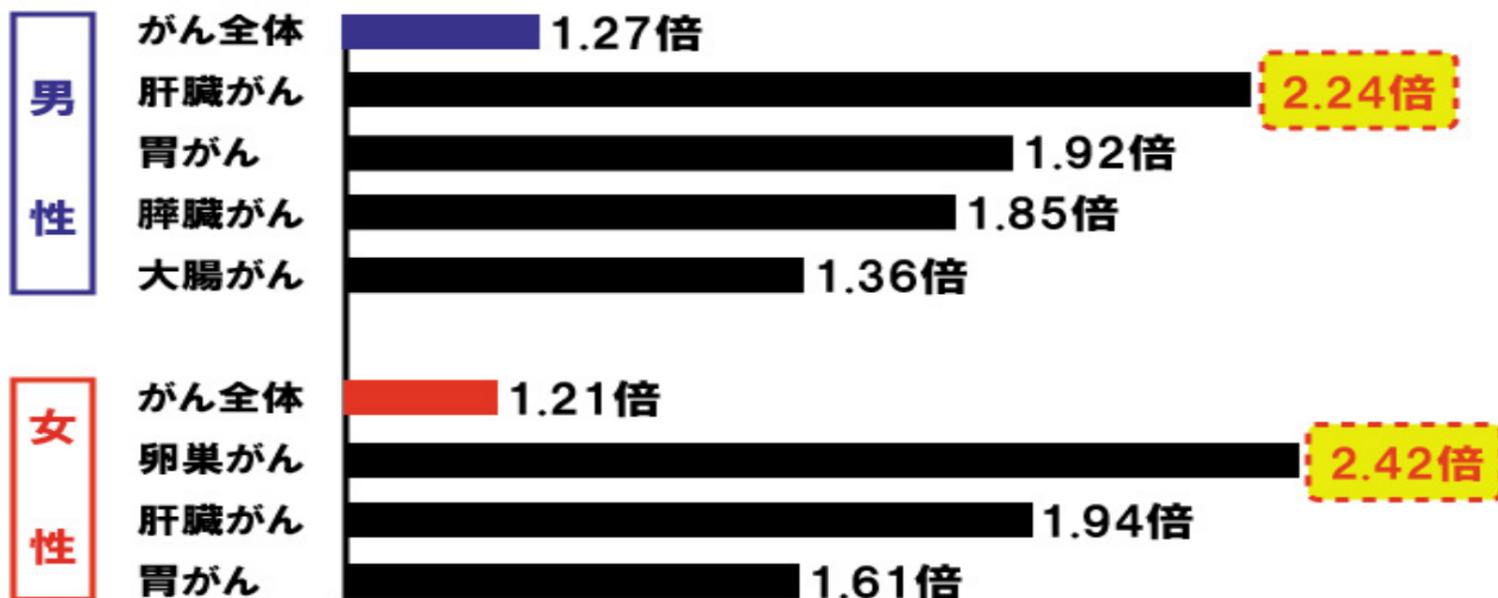
### ●生検とは？

生体組織検査または、バイオプシーといい、病変部位の組織(細胞)を切り、顕微鏡などで観察することによって、病気の診断または病変の拡大の程度を調べる検査の一つ

”

# 実際に、糖尿病患者だとガンリスクが跳ね上がります！

## 糖尿病患者の癌発症リスク (糖尿病でない人のリスクを『1』とした場合)



【引用】 <http://sayuri-clinic.jp/cancer/002.html>

ただし、ガン細胞はエネルギー源として糖を好むとはいえ、脂肪とたんぱく質だけの環境でも問題なく生存できるようです。

# 胃のバリウム検査・デメリット多くメリットなし！

バリウム検査による胃がん検診では、ガンの見落としが非常に多く（青森県はバリウム検査による胃がん検診では約4割の患者を見落とししていると報告）、被爆量は胸部X線の約100倍、しかも、重大な事故や副作用も次々と引き起こしていることが明らかになりました。



撮影の際に服用するバリウムの副作用は、不快感や嘔吐といった症状のほか、腸閉塞、腹膜炎を発症することもあります。また、アナフィラキシーショックにより、血圧低下に伴う失神、意識消失、呼吸困難といった重篤な症状も報告されています。

**実際に、医師でバリウム検査を受け入れる人は稀と言われ、胃に不安がある医師はレントゲンでなく、胃カメラを使って検査しているそうです！**

# 医師がガン検診を受け入れない理由も結局は・・・

医者というのは、他人にはアレやコレやと勧めるが、自分に対しては危険なことは絶対にしません。事実、大半の医者はガン検診というものを受けていません。理由は以下になります。

- ・大腸ガン検診が増えても、大腸がん総死亡者数の減少が認められない。
- ・肺ガン検診では、検診を受けた人の方が総死亡率が高いと結果があるそうです。
- ・乳ガンや前立腺ガンでは、無治療でも数年でガンが消滅したり、ガンが腫大・転移せず天寿を全うする例が多いそうです。

これらはほんの一例に過ぎません。

要するに、**ガン検診そのものに意味がないことを医者ら本人が自分で認めている**ということですよ。

# ブドウ糖 (乳酸) の蓄積もまた細胞炎症の原因

ガン細胞は味方で、真の黒幕はブドウ糖ではないか？という説が高まっています。

そもそも、「人体のシステムに無駄などあるはずがない」という前提に立てば、ガン細胞の見方も変わってきます。

“

ブドウ糖 = 乳酸 × 2

つまり乳酸とはブドウ糖を2つに割っただけの糖と言えます。

”

再度確認しますが、ガン細胞の構造的なメリットは、**正常細胞の10倍近いブドウ糖を取り込めるところにあります。**

つまり、ガン細胞は蓄積した乳酸 (ブドウ糖を) を処理するために発生しています。

と言うことは、「過剰な糖質接種により生じた大量の乳酸を、ガン細胞がわざわざ処理してくれる。」とも考えられます。なので、**過剰な糖質接種は糖尿病だけでなく、ガン細胞も増やしている要因になります。**

# ブドウ糖 (乳酸) の蓄積もまた細胞炎症の原因

ガン細胞は味方で、真の黒幕はブドウ糖ではないか？という説が高まっています。

そもそも、「人体のシステムに無駄などあるはずがない」という前提で、細胞の見方も変わってきます。

“

ブドウ糖 = 乳酸 × 2

つまり乳酸とはブドウ糖

”

糖質 (砂糖) の取りすぎと乳酸 (ストレス) は、  
ガンの発生原因の多くの要因になります。

再度、糖質 (砂糖) の取りすぎと乳酸 (ストレス) は、正常細胞の10倍近いブドウ糖を取り込める  
ガン細胞は、乳酸 (ブドウ糖を) を処理するために発生しています。

と言った「過剰な糖質接種により生じた大量の乳酸を、ガン細胞がわざわざ処理してくれ  
る。」と考えられます。なので、**過剰な糖質接種は糖尿病だけでなく、ガン細胞も増やしてい  
る要因になります。**